

# The University Times

October 2014 Vol. 35

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2014

## CONTENTS

■ Global Leader's Voice 税所篤快さん (e-Education) ..... 1 2	■ Journalist's Eye インターネットで遺伝子検査 インスタントカメラが復活 ..... 6	■ Key to Success 留学トラブル解決策/ Book Review ..... 10	■ IELTS World IELTS テストのコツ ..... 13
■ Studying Abroad in the U.S.A 私の米国留学 ..... 3	■ News in English 英文記事を読んでみよう ..... 7	■ Scholarship List 奨学金情報 ..... 11	■ IELTS World IELTS 対策コースナビ/攻略本 ..... 14
■ University's Challenge 立教大学/国際基督教大学 ..... 4 5	■ Visit a Global Company ユニバーパ・ジャパン・ホールディングス株式会社 ..... 8 9	■ IELTS World IELTS Hot News ..... 12	■ Study Abroad Benefits 留学で培う3つの力 ..... 15

## Global Leader's Voice

## グローバルリーダーインタビュー

## 世界の子どもたちの未来を「教育」で変えたい

Vol.5 税所篤快さん e-Education共同代表

アジアの最貧国のひとつバングラデシュにおける教育格差を目の当たりにした税所篤快さんは、授業をDVDに録画し、貧困層の高校生に届けることを思いついた。

たった3人で始めた映像授業プロジェクト「e-Education」は、多くの支持を得て、今や世界7カ国8地域に広がっている。

### 覚悟を決めて休学し 単身バングラデシュへ

大学3年生のとき偶然手に取った1冊の本が、税所さんの道を開いた。

秋田大学の坪井ひろみ准教授が著した『グラミン銀行を知っていますか』との出会いは衝撃的だった。当時の税所さんは、社会起業に興味を持って行動を起こすも失敗。何をやっても中途半端。自暴自棄になっていた。でも何かをしたい。自分にできることはないだろうか。図書館で本を読みあさり、この本と出合った。

「農村に暮らす貧しい人々の自立を支援する、バングラデシュのグラミン銀行の活動を初めて知りました。僕がやりたいのはこういう活動なんだと、目が覚める思いでした」

税所さんは、居ても立ってもいられなくなり、突き動かされるように坪井先生に電話をかけ、その日のうちに夜行バスに飛び乗り、秋田へ向かっていた。

坪井先生の話聞き、グラミン銀行についてさらに深く理解したいと考えるようになった税所さんは、実際にグラミン銀行を見てみたいと数週間後には現地へ降り立った。

しかし、単なる見学者の一人に過ぎない自分に満足がいらず、「グラミン銀行にもっと深く関わりたい」との思いが高まる。そこで、グラミン銀行の関連組織「グローバル・コミュニケーション・センター (GCC)」と共同研究を行う九州大学の研究者を探し出し、今度は福岡まで会いに行った。そして、いかに自分がグラミン銀行に感銘を受けているかを訴え続け、ついにGCCに職を得た。

こうして税所さんは、バングラデシュでの活動に全力を注ぐ覚悟で大学を休学し、単身バングラデシュへと渡ったのだ。

### 深刻な教育格差が存在 貧困層の現状を知る

GCCでは、日本の大学生をバングラデシュに呼び、問題解決のアイデアを出し合う「グローバル・チェンジメーカーズ・プログラム (GCMP)」のコーディネーターを務めた。

税所さんは20人余りのプログラム参加者たちを率いて、貧困層の現状を理解し、彼らが抱える問題を探るために、バングラデシュの貧しい農村へ向かった。そして、1週間ほど滞在し、村の人たちと生活をともにした。

「現地の大学生の通訳を介して話すのです



が、最初はなかなか話が弾みません。急に見知らぬ日本人に『村の問題は何か』と聞かれても、戸惑いますよね。そこで、兄弟は何かか、どんな仕事をしているのかと、雑談から入るようになりました。すると、村人たちは少しずつ打ち解けて、いろいろなことを話してくれました。相手の話に耳を傾け、同じ目線に立ち、心を通わせることが、コミュニケーションを取るうえで何よりも大切なことなのだ

学びました」

ある日、村の高校を訪れた税所さんは、校長から「課題は山積みだが、何よりも教師が足りない」と聞く。村では60～70人の生徒に対して教師は一人しかおらず、バングラデシュ全体では4万人も教師が不足しているという。さらには、貧富の差による教育格差も明らかになってきた。

バングラデシュでは、学歴社会化が進んで

いる。政府組織や大手企業で働く人の多くは、有名大学の卒業生だ。

一方で、高校では教員不足により教育の質が低下しており、大学に入るためには、予備校に通うのが一般的になっている。しかし、その授業料は高額で、予備校に通えるのはごく一部の裕福な家庭の子どもに限られる。農村部には、優秀であってもお金がないため予備校に通えず、大学進学を諦めざるを得ない高校生が大勢いるのだ。

## 映像授業のアイデアは自らの予備校経験から

どうしたら教員不足の現状を脱却できるのか。教育格差の問題を解決する糸口はないか。課題解決の方策を考えるなかで、税所さんは、かつて自身が通っていた予備校の授業方式が役に立つのではないかと感じた。

進学校である都立両国高校に進学するも、勉強する意味を見いだせず、次第に勉強から遠ざかり、成績が落ちるところまで落ちていたかつての自分。「偏差値が28まで落ち込みました。『自分ではできるはずだ』という根拠のない自信はあっても、勉強には打ち込めない。行動にも移せない。フラストレーションがたまり、コンプレックスを抱え、行き場を失っていました」と振り返る。2年次の秋には、担任の教師に「このままでは2年浪人しても希望する大学には合格できない」とまで言い放たれた。

悔しかった。先生の言葉に奮起し、早稲田大学への現役合格を固く心に誓った。そこから1年間、高1からの勉強をやり直すため予備校に通った。授業を収録したDVDを見て学習するスタイルの大手予備校だ。映像授業はどれもわかりやすく興味深かった。必死で勉強し、成績は驚くほどに伸びた。そして、早稲田大学教育学部に現役合格を果たす。

「そうだ！ 予備校の有名講師の授業をDVDに録画し、農村部の高校生に届けよう。映像授業で、大学合格を目指そう」。映像授業プロジェクト「e-Education」のアイデアはこうして生まれたのだった。

## 映像授業プロジェクト「e-Education」が始動

2010年5月、税所さんは、友人の三輪開人さん、バングラデシュで意気投合したダッカ大学の学生、アブドラ・モティン・セイクさん（通称マヒン）とともに活動を開始した。3人の合言葉は、「Break the wall.」。教育格差の壁を壊し、イノベーションを起こそうと心をひとつに誓い合った。

まずは、ダッカ大学の学生にアンケートを取り、バングラデシュの予備校事情を調査した。その情報を基に、予備校の有名講師の授業を見学し、講師一人ひとりにe-Educationの趣旨を英語で説明し、協力を依頼して回った。税所さんの持ち前の明るさと人なつこい笑顔、そして何よりも教育改革への熱い思いが相手に通じ、少しずつ信頼を得ていった。

「初めは怪訝そうな様子でも、映像授業でバングラデシュの教育格差の壁を打ち破りたいという思いを伝えると、多くの先生が快く協力してくれました。当時の僕の英語はひどいものでした。それでも、伝えたいという思いが強ければ、相手も一生懸命に聞き取るようになってくれる。心が通じ合ったと感じる瞬間



人とのつながりから生まれるエネルギーの大きさを感じます。

は、気持ちが高ぶりました」

講師への出演交渉、授業DVDの撮影と並行して、生徒集めと教室の環境整備にも奔走した。初年度の舞台には、マヒンの出身地であるハムチャー村を選んだ。

「村の人が協力してくれ、古い小屋を教室用に借りることができました。また、授業を視聴するパソコンなどの機器は、ツイッターやブログで寄付を呼びかけたところ、中古のものが5台も集まりました。当時は、とにかく資金も物資もなかった。皆さんの親切心に支えられ、なんとか学習環境を整えることができました」

集まった生徒は30人。10月の大学受験に向けて、6月にはようやく授業開始にこぎ着けた。ところが、7月頃から教室に来なくなる生徒が増えてきた。家庭が貧しく、親の手伝いをしなくてはならないという。さらに、「田舎の貧しい高校生が合格できるはずがない」という村人の声もあり、生徒たちは大学合格への意欲をなくしていたのだ。そこで、生徒の目的意識や学習意欲を高めるために、最難関のダッカ大学を訪問する「スタディーツアー」を実施。憧れの大学を目の当たりにした生徒たちは「絶対に合格する」と士気を高めた。

そして、ついに結果が出た。わずか4ヵ月ほどの準備期間だったが、30名のうち20人近くが志望大学に合格し、そのなかの1人はダッカ大学へ合格したのだ。このニュースはバングラデシュの新聞やメディアによって、「ハムチャー村の奇跡」として国中に紹介された。「貧しくても、田舎に住んでいても、難関大学に進学できる」と証明した生徒たちの姿は、バングラデシュの多くの若者を勇気づけた。

## 失敗を乗り越えて夢は世界5大陸へ

1年目に大きな成果を上げたe-Educationだったが、2年目には挫折も味わった。日本の企業と提携し、バングラデシュでの取り組みをソーシャル・ビジネス化しようとするも失敗。無料だったe-Educationを有料にしたところ、生徒が全く集まらなかったのだ。税所さんは日本に帰国し、一時は就職することも考えた。自分が本当にやりたいことが何なのか、e-Educationをどうしたいのか、わからなくなっていた。

「このままでは元の中途半端なお前に戻っ

てしまうぞ」と、厳しい言葉で叱咤激励したのが、税所さんが「人生の師」と仰ぐ一橋大学イノベーション研究センター長・教授の経営学者、米倉誠一郎氏だった。

税所さんと米倉氏の出会いは、高校2年の夏にさかのぼる。税所さんは、第一線で活躍する企業人や研究者から社会を変革する力について学ぶ高校生向けのプログラム「日経エデュケーションチャレンジ」に参加した。その校長を務めていた米倉氏は、さまざまなイノベーションの実例を挙げながら、「変わったアイデアを思いつく人間には価値がある」「世界を変えるのは君たちだ」と熱く語った。米倉氏の授業は、高校の授業とはまるで異なるものだった。体が震えるほどの興奮と喜びを感じ、米倉氏に弟子入りしようと思ったのだ。

米倉先生の厳しい言葉に加えて、仲間からは温かい言葉ももらい、そして何より仲間がe-Educationのために努力する姿を間近に見て、税所さんはもう一度立ち上がる気力を得た。

失敗を乗り越え、バングラデシュでは年を追うごとにe-Educationへの反響が大きくなった。3年目には200人を超える応募があり、100人以上が志望大学に合格を果たした。現在は、マヒン率いるチームが中心となり、運営を担っている。一方、パレスチナの封鎖都市ガザでは教員向けのe-Educationを企画し、学習障害の子どもに対する教育について専門家がサテライト授業を展開した。また、フィリピンでのプロジェクトは、税所さんの活動を知った日本の大学生が「e-Educationをフィリピンでやってみよう」と提案したことから実現した。

e-Educationを世界5大陸に広げるとい目標のもと、今後は、南米や中国でも展開していく予定だ。また、e-Educationの効果学術的に研究するため、東京大学や京都大学との共同研究プロジェクトも進行中だ。

「e-Educationの活動を通して、人とつながることの大切さ、そしてそこから生まれるエネルギーがいかに大きいかを学びました。これからも、たくさんの人と出会い、語り合い、ともに教育問題の解決に取り組みたいと思っています。そして、それがいつか大きな力になると信じています」

## 仲間が増えれば世界はぐんと広がる

教育により自分は変わった。教育の重要性

を、身をもって感じた。だからこそ、バングラデシュの教育格差という問題を解決するために何かを起こしたい。教育で世界の子どもの未来を変えたい。熱い思いを胸に税所さんは仲間とともにe-Educationの活動を続け、その活動は現在、バングラデシュをはじめアフリカのルワンダ、中東のヨルダンとガザ、フィリピン、ベトナム、ハンガリー、インドネシアの7ヵ国8地域に及ぶ。

活動を広げるたびに、新たな人とのつながりが生まれる。e-Educationの取り組みに引かれた日本の大学生、現地での活動を支えてくれたJICAや外務省などのスタッフ、協力してくれる現地の人々など、e-Educationに携わる人の輪は大きな波紋のように広がっている。

今後のe-Educationは、どこに向かうのだろうか。税所さんは次のように語る。

「映像授業で教育問題を解決する、という軸は変わりません。さらに世界中に枝葉を伸ばし、それぞれの地域に合った形で、プロジェクトを展開させていきたいと考えています」

何より心強いのは、プロジェクトと一緒に立ち上げたメンバーの一人である三輪さんが、大学卒業後JICAに就職していたが、E-educationに戻ってきてくれたことだ。

「これを機に共同代表に就任しました。今後の活動はますますスピードを増しています！」

そして、自身は早稲田大学を卒業し、アメリカのハーバード大学大学院を目指すという。

「e-Educationで実践してきたことを、学術的にも研究してみたい。世界中にたくさんの仲間を作りたいんです。人と人がつながれば、e-Educationをより広げていくことができます。そんな未来を想像するだけで、胸が躍ります」

現在はe-Educationの活動の傍ら、大学院進学のための英語の勉強にも力を入れている。今年1月には留学に必要なIELTSも受験した。2011年に参加した世界経済フォーラム（ダボス会議）では、英語でプレゼンテーションを行ったが、そのとき洗練された英語で話すことの必要性を強く感じた。だからこそ、次なるe-Educationの発展のためにも、真剣に英語を学び直しているのだと言う。

「中学生の頃にもっと英語の勉強をしておけばよかったと後悔しているんです。当時は、文法や文型なんて役に立たないと決めつけていました。でも、正しい英語を使ううえでは、基本となるルールが不可欠なんですよ。あの頃の僕に伝えてあげたいです」。そう話す税所さんは、何も飾らない等身大の若者だ。

夢とアイデアを持って世界に飛び出し、行く先々で人と触れ合い、つながりを深めてきた税所さん。既存の固定概念にとらわれない柔軟な思考とまっすぐな感性で異文化を受け入れ、人と接し、物事に向き合う。税所さんのしなやかな生き方は、e-Educationのあり方そのものだ。

### 税所篤快（さいしょあつよし）

1989年生まれ。国際教育支援NPO「e-Education」共同代表。早稲田大学教育学部4年生。2009年、バングラデシュに渡りグラミン銀行の研究ラボで初の日本人コーディネーターに就任。翌年「e-Educationプロジェクト」事業を立ち上げる。おもな著書に『最高の授業』を世界の果てまで届けよう』（飛鳥新社）など。

# 私の米国留学

## アメリカ留学もIELTSの時代へ

～IELTSはアメリカの約3,000の大学・プログラムで認定されています～



## 学生の意欲が高い小規模大学で 念願だった参加型の学びが実現

### NPO 団体から派遣され 教師をしながら学士取得

学部時代にアメリカへの交換留学を経験し、「学生が積極的に授業に参加する海外の教育環境に身を置いて、いちから学び直したい」と思ったことが今回の留学のきっかけでした。長期留学のため費用の捻出に悩んだのですが、「現地の学生に日本語を教えることで、授業料と寮・食費全額免除のもと修士・学士号の取得を目指す」というNPO団体のプログラムを見つけて応募。現在、同団体からミズーリ州のリベラルアーツカレッジ、ウィリアムズ大学に派遣され、日本語教師として働きながら国際関係学を学んでいます。

日本語教授法をともに学んだ仲間、教授と。



友人と教会へ行った帰りにファストフード店で。



リベラルアーツカレッジは小規模なので、多様性という面では総合大学に劣りますが、学生のレベルや意欲が高く、いい刺激を受けています。教授や学生同士の距離が近く、授業中は一人あたりの発言数が非常に多い点も私の希望にかなうものでした。

### 複雑な国際関係学を 実践的に習得

国際関係学専攻では、アメリカにおける外交の歴史から戦争論理、欧州やアジアの政治まで幅広く学びます。イスラエル・パレスチナ問題の授業では、学生がイスラエル政府の官僚を演じて「パレスチナとの平和会議が成立するか」をテーマに討論し、国際関係の複雑さ

多くの日本人学生が、未来に大きな夢を描き、アメリカの大学や大学院に留学している。彼らはどのような生活を送り、どのようなことを学んだのだろうか。その十人十色の体験談は留学を考える読者のみなさんに、たくさんのヒントと勇気を与えてくれるだろう。

本コラムは以下の2団体の協力により連載しています。  
●JGSAU (米国大学院学生会) <http://gakuiryugaku.net/>  
●USCANJ (アメリカ学部卒業生ネットワーク) <http://www.uscanj.net/>

をあらためて考えるいい機会になりました。変化に富む分野を学ぶのは大変ですが、周りには熱心なクラスメイトが多く、彼らと授業に参加するのがいつも楽しみです。

一日の生活は、まず学生として始まります。朝6時に起床すると、午前中は履修した授業を受講。そして午後は日本語教師として初級から上級までのクラスを担当します。留学当初は、教師と学生の両立に必死でしたが、今は優先順位をつけて効率的に勉強と仕事を進め、適度な息抜きもできるようになりました。

### 充実した学内サポートと 応援してくれる人に感謝

また、学内の設備が充実している点もありがたいです。例えば昨年、最新の3Dプリンターやコンピュータ、会議室などを備え、24時間体制で学生の学びをサポートする「ラーニングコモン」という施設がオープンしました。加えて今年、いつでもオンラインで資料や教材にアクセスできるよう、全学生と教員を対象にiPad Airの配布を開始。これを利用して日本語を学ぶ学生向けに、Twitterを使った文法と単語力強化のコンテンツを配信しようと考えているところです。めまぐるしい生活が続いていますが、常に自分を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れず、そして日本語クラスの学生たちの頑張る姿をパワーに、ますます充実した留学生活を送りたいと思います。

### ウィリアムズ大学 堀 蓉子さん

茨城県出身。立教大学観光学部在学中にウエスタンミシガン大学に交換留学。卒業後、NPO団体ALLEXからウィリアムズ大学に派遣。日本語を教えるながら国際関係学を専攻。



### 堀さんに一問一答！

**Q 留学して成長したと思うことは？**  
多様な価値観と関わる生活を通して、人見知りや直ってききました。また、やりたいと思ったことは積極的に挑戦するように。たとえ困難があっても成長の機会と受けとめられる、強い精神力が身についたと感じています。

**Q 実りある留学にするための秘訣は？**  
なるべく多くの人と話すこと。留学先で多様な文化や考えに触れることで、視野が広がります。また目標を持つことも大切。「授業中に最低2回発言する」といった小さな目標を持つだけでもモチベーションが上がります。

**Q 留学を目指す読者にアドバイス**  
経済的な問題などで留学への一歩を踏み出せない人がいると思いますが、留学経験者やエージェントなど支えてくれる人はたくさんいます。まずは周りに相談することから始めて。前向きに行動すれば、きっと実現するはず。



## 優秀な学生や研究者に囲まれて 刺激あふれる成長の日々

### 自由に遊び心あふれる MITの校風にひかれて

高校生の時に「国際化学オリンピック」に出場し、世界中から集まった優秀な高校生と交流を深める機会がありました。この大会に参加した多くの学生がアメリカに留学していることを知り、それならば自分も挑戦してみたい、と留学を決意しました。

マサチューセッツ工科大学 (MIT) を選んだのは、見学で訪れた際に、自由に遊び心にあふれた雰囲気や印象的だったから。ボストンという歴史や文化の面で興味深い街にあるということも、選んだ理由のひとつです。

実際に入学してみると、学生たちは授業で



国際化学オリンピックに出場した友人とともに。

忙しいにもかかわらず、いつも遊び心を忘れずにさまざまな「いたずら」を仕掛けてきて、刺激にあふれた毎日です(笑)。世界中から集まった優秀な研究者たちとの出会いも多く、知的な刺激にも事欠きません。

### 研究体験プログラムで 豊富なりサーチ体験

大学での専攻は化学と物理。「物理的な手法を用いて物質の性質を分析すること」「化学的な手法を用いて興味深い性質を持った物質を合成すること」の2点に興味があり、この達成を目指して、日々研鑽を重ねています。

MITの学生はみな積極的で、新しいことに取り組むのに適した環境だと思います。教授た



以前から興味があったミュージカルに挑戦！

ちの対応もとても親身なもので、活発な学生たちのチャレンジを後押ししてくれます。全米トップクラスの総合大学の名にふさわしく、研究設備もとても充実しています。大学から「研究体験プログラム」が奨励されていて、多くの学生が研究体験を積んでいるのもMITならではの。研究職に進みたい学生にとっては、絶好の学びの環境が整えられています。

### 勉強の気分転換は ミュージカルの稽古

授業や研究室での実験などで忙しい毎日ですが、その合間を縫って、ミュージカルのコーラスにも参加しています。「ギルバート&サリバン」という作家の作品を上演しているミュージカルサークルに所属し、コーラスメンバーの一員として、歌や踊り、演技に挑戦しています。普段とはまったく異なる身体の動かし方をするので、気分転換には最適ですね。土日は友人たちと遊ぶこともあります。朝から研究室で実験に取り組むことのほうが多いかもしれません。

MITを卒業したら、アメリカの大学院のph.Dコースに進学して、学問をさらに深めたい。その後は、研究職に就きたいと考えています。アメリカに留まるか、日本に帰国して活動するかは、まだ決めていません。まずは、目の前にある目標に向かって、常に前向きに、進んでいきたいと考えています。

### マサチューセッツ工科大学 副島智大さん

東京都出身。立教池袋高校時代に、アメリカで開催された「国際化学オリンピック」に出場したことがきっかけで留学を決意。念願のマサチューセッツ工科大学化学科に入学し、化学と物理を学ぶ。



### 副島さんに一問一答！

**Q 留学して成長したと思うことは？**  
自分自身の力を客観的に見つめ直すことができました。これまで、自分の能力には比較的自信を持っていましたが、文化が違えば通用しないこともある。今後の生き方を考えるうえでも、貴重な経験になったと感じています。

**Q 実りある留学にするための秘訣は？**  
自分から行動することが大切です。興味のある活動があれば積極的に参加する、おもしろそうな教授がいればコンタクトをとる。こうしたアクションを積み重ねることで、さまざまなチャンスが広がってくるはずです。

**Q 留学を目指す読者にアドバイス**  
母国を飛び出し、未知の文化に身を置くことは、初めはつらいと感じるかもしれませんが、でもそこには必ず、得られるものがあります。留学というまたとない体験を生かすためにも、常に前向きに考え続けることが大切です。

グローバル教育に挑む大学

## 立教大学

持てる英語力を引き出す  
ディスカッションクラス

レベル別の少人数クラスで、討論を通して英語を「使う」ことに焦点を当てた授業が、成果を上げつつある。全学部の学生が学ぶ「全学共通カリキュラム」のひとつ「英語ディスカッション」の授業を紹介しよう。

実践で徹底的に鍛える  
8名の少人数クラス

立教大学ではグローバル教育の一環として、重点的な語学カリキュラムを全学共通で展開している。すべての学生について、専門分野に特化した英語力強化を行い、第二外国語の履修を義務づけているほか、留学などの海外体験の機会も豊富だ。

10学部の学生全員が1年生で履修する英語の必修科目は、こうした取り組みの第一段階に当たる。およそ4,700名の新入生全員が、立教大学に入学して最初の1年間で、英語ディスカッション、英語プレゼンテーション、英語ライティング、英語eラーニングの4分野を学び、まず英語運用の基礎力を集中的に養うのである。「英語を学ぶ」というよりも、「英語を使う」ことに重点を置いた授業は、学生たちが中学・高校で経験してきた「教科としての英語」とは、明らかに様相が異なる。日本人がとかく苦手とする討論の力にフォーカスした「英語ディスカッション」では、特にそれが顕著だ。

「4,500人を超える規模の1年生全員が必修で、しかも1クラス8名という極めて少人数できめ細かい英語の授業を行っている大学は、おそらく国内では稀だと思います」と、英語ディスカッション教育センターの松岡直樹課長補佐は言う。

学生たちは入学直後にプレイズメントテストを受け、帰国子女を含む上級者対象のレベル1から初級相当のレベル4まで、4つのレベルに振り分けられる。8名単位の少人数クラスを必要な数だけ設置しているので、「英語ディスカッション」だけで、実に週570コマもの授業が行われることになる。

「1年生全体の55%は、レベル3に集中しています。レベル3とは、知識はあるが英語を使う経験に乏しく、思うように言葉が出てこないレベルです。このレベル3だけで、300ものクラスが展開しています。次に多い

のがすぐ上のレベル2で、約30%の学生が180クラスに分かれて学んでいます。結果、レベル3とレベル2の学生で全体の8割強、上級にあたるレベル1が約5%、いちばんやさしいレベル4は10%といったところです」

授業は前期と後期でそれぞれ14回。出席、授業中の発言、ディスカッション形式でのテストなどを総合的に評価して、1年間で2単位が与えられる。

英語ファンクションを  
フレーズで身につける

廊下の片側にずらりと小教室が並び、それぞれ8人ほどの学生が机を囲んでいる。何やら活動に没頭している様子が、ガラス越しに見てとれるが、室内の音はほとんど外に漏れてこない。5年前に「英語ディスカッション」プログラムがスタートした際、大学は15クラスを収容するこの専用棟を新築した。現在は新旧校舎で合計41の教室が、本プログラムのためにフル回転している。

ポール・ガーサイド先生が担当するレベル3のクラスでは、経営学部の学生たちがペアになって夏休みの予定を話していた。「ディスカッション」と言っても、テーマは難解なものではなく、18歳の学生にとって比較的身近なものが多いという。

「In summer, I will go to Kyushu.」

「Oh, that's nice!」

「Yes, yes! I will enjoy!」

「You go with your friends?」

学生たちは、決して長い英文を話しているわけではない。詰まったり迷ったりで、発音も完璧にはほど遠い。複雑な単語も、ほとんど聞こえてはこない。文法的にもたくさんミスがあるはずだ。しかし先生は口を挟まない。そして学生たちはどのペアも、絶妙のタイミングで相槌を打ち、次から次へと短い質問を繰り返しながら、楽々とそして嬉々として、3分も4分も英語の会話を続けていく。

諸井貴子先生のクラスでも、賑やかなペアワークが進行中だった。こちらもレベル3の学生たちだ。前期の最後の授業ということで、今期取り上げた6つのディスカッション・トピックのなかで、自分がもっとも興味深く思ったテーマは何かを、相手に説明している。

ペアワークでは、席替えを繰り返し次々と相手を入れ替えていく。最初は3分間かけて考え考え自分の意見を相手



に話すが、次の相手には2分で、その次の相手には1分で、同じことをよりスムーズに話さなくてはならない。口を馴らし流暢さを伸ばす練習なのだ。

授業は4人単位で行うディスカッションを2～3セッションに、たくさんのペアワークを交えて進められる。ポキャブラリーの強化や文法の学習などは行わない。代わりにディスカッションに適したファンクション（英語の機能）を、具体的なフレーズとして教え、繰り返し練習する。レベル3では、次のようなフレーズが含まれる。

- 意見を言う・引き出す  
In my opinion...  
Frankly/Honestly... speaking,
- 意見を結びつける  
What do you think of (my idea)?  
As someone said before...
- 賛成・反対  
I agree.  
I see your point but...
- 理由を述べる／聞く  
Can you explain...?  
One reason is...
- 例示する／してもらう  
One example is...  
Can you give me an example?

たとえ英語がペラペラでなくても、「Can I ask a question?」という言い方に慣れていけば、相手を振り向かせ、英語の討論に参加することもできるのだ。適切な英単語が思いつかずに困ったときは、「How do you say ~ in English?」と仲間に聞く。するとみんなが知恵をしぼり、どこからか助け舟が出てくる。安易に教師に頼らず、自分たちで解決を模索することも、ディスカッションという参加型授業の重要な要素なのだ。習ったフレーズをトリガーのように使って、一言でも多く英語を口にするだけで、10分でも20分でもディスカッションを続けられてしまう驚き。学生たちは、そこに大きな喜びと自信を見出しているように見えた。

8～9割の学生が  
授業の効果を実感

英語ディスカッション教育センターのプログラムマネージャーでもある諸井先生は、本プログラムの目的を次のように語る。

「日本の大学生は受験勉強を経験しているから、実はみんな、体系的で豊富な英語の知識をもっています。ところが英語を話す機会がないために、せっかくの知識を実践の場に引き出して使う練習ができず、英語に対して自信がもてないのです。今、自分をもって



英語ディスカッション教育センタープログラムマネージャーの諸井貴子先生

いる語彙を使い、すでにある英語の知識を使って、少しでも流暢に話せるようにする。それがこのプログラムの目標です」

レベルを問わずどのクラスにおいても確実に同じ指導方法がとれるよう、46人の専任教員（ほとんどが外国人教員）にも研修を徹底している。当初は日本の学校で教えた経験をもつネイティブ・スピーカーの教員たちを中心に、「学生だけで10分間も、英語のディスカッションができるのか」と懐疑的な声もあったが、予想以上の成果に今は確かな手ごたえを感じている。

「学生も8割から9割は、成果を実感しているようです。最初は不安の声も少なくないのですが、前期が終わる頃には、『楽しい』『力がついたと思う』といった声に変わってきます。上級レベルの学生の間からは、『論理的に意見を述べ、人を説得するスキルを学ぶので、日本語でも応用できそうだ』といった意見も出てきています」（松岡氏）

「立教からの交換留学生は、のびのびと意見を発言し、とても教えやすいと、海外の大学の先生からうれしい指摘をいただくことがあります。英語に慣れることも、ファンクション・フレーズやディスカッションのスキルを身につけることも重要ですが、自分の今の実力でもここまで英語で話せるのだという成功体験が、自信につながっているのかもしれない」（諸井先生）

「英語ディスカッション」のプログラムはすでに5年目。国際化に力を入れる全学的な取り組みのなかで、長期的には専門教育にも英語の授業を広げていくことを、立教大学では目指している。

## 立教大学

1874年の創立以来、知性、感性、身体バランスがとれた全人格的な教育を目指すリベラルアーツ教育を推進。全学部生対象の「全学共通カリキュラム」では、「英語ディスカッション」をはじめ英語を「使う」ことに焦点を当てた授業を行う。



習ったセンテンスを積極的に使うよう講師が促していく。

## グローバル教育に挑む大学 国際基督教大学

英語プログラムで学ぶ  
批判的思考力と学習スキル

文系・理系の枠組みを超えたりベラルーツ教育を特徴とする国際基督教大学では、英語力だけでなく、批判的思考力と学習スキルを養う必須カリキュラム「リベラルアーツ英語プログラム」を実施している。

英語力に応じた  
4段階のクラスで学ぶ

国際基督教大学（以下、ICU）は学生の10人に1人が外国籍で、その国籍数は40カ国以上にも及ぶ国際色豊かな大学だ。教員も約3分の1が外国籍で、さらに、教員と学生の比率は1対18という少数でのきめ細やかな教育を実現する環境が整う。学内での公用語は日本語と英語。理系の実験科目でもネイティブスピーカーの教員が英語で行う授業もあり、実践的な英語力を習得することで、国際的に活躍する場が開けるなど、4年間を通じて、学生一人ひとりの可能性を伸ばす、多様な学びの機会が用意されている。

入学時期は4月と9月の2回。4月入学生は、おもに日本の高等学校を卒業した学生で、9月入学生は、日本以外の教育制度を経た帰国生や外国籍学生、交換留学生などだ。日本語と英語のどちらの言語でもアカデミックな議論ができる能力を養うため、4月入学生は「英語」を、9月入学生は「日本語」を強化する。「リベラルアーツ英語プログラム＝ELA (English for Liberal Arts Program)」は4月入学生全員を対象とした、1～2年次の英語教育プログラムだ。

ELAは、日英バイリンガリズムが根づくICUでの学びや大学生活に必要な英語力の習得を目的としている。入学時点で英語の習熟度が高い学生は、短期間で集中的に学習し、じっくり英語力を伸ばす必要のある学生には、十分な指導と演習の機会が用意されるなど、学生の英語力に応じた4段階のStream（課程）を設けている。入学直後にプレースメントテストを行い、海外生活経験や中学・高校段階でのアカデミックライティング経験を加味してStreamを決定する。さらに、「リベラルアーツで何を学びたいか」をテーマとした小論文や面接の結果も加味される。最も英語力の高いStream 1は20人、次いでStream 2が80人、ICUの平均的な英語力



ELA主任の岩田祐子教授

を持つ学生が集まるStream 3は340～360人と多く、語彙力やリスニング力の補強が必要なStream 4は120～140人が在籍する。それぞれ20人程度の少数クラスを編成して授業を行う。

## 英語で2000語の論文を書ける力を身につける

ELAではおもにARW、RCA、ASの3つの科目を学ぶ。そして、その集大成としてRWに取り組む。

ARW (Academic Reading & Writing) は、アカデミックなテーマを通して読解力や理解力、討論力、論文作成力を高めることを目的とし、すべての学生が履修する。ネイティブ教員がおもに授業を担当し、個人指導のチュートリアルによって理解を深める。

RCA (Reading & Content Analysis) は、Stream 3と4の学生が履修する科目で、学術論文を読み込んで分析する読解力をつける。日本人教員が担当し個人指導にもあたる。

AS (Academic Skills) は、Stream 2～4の学生を対象とし、講義の聞き方やノート取り方、語彙の構築、ディスカッションとプレゼンテーション・スキルの訓練ならびに大学での学びに必要な技術を学ぶ科目だ。

これらの科目をStreamに応じた期間で履修し、いずれのStreamにおいても最後にRW (Research Writing) に取り組み、学生が個々で決めたテーマについて調べ、研究し、英語で2000語の論文を書き上げる。Stream 4の学生には、RWを履修する準備と

して、FRW (Foundations of Research Writing) の科目により、学術論文作成の基礎を復習する機会も用意されている。

授業はすべて1クラス20人の少数で行い、英語の文献を批判的かつ分析的に読む力を身につけ、学生同士や教員との活発な議論を行うことに重点を置く。議論を通じて、学生は自分の意見を発表するだけでなく、相手の意見を聞き取る力や自分の考えを英語で書く力などを総合的に伸ばしていく。ELAで扱う学際的なトピックは、ELA修了後に学生たちが専攻するメジャー（専修分野）選択にも深い関わりを持つ。

ELA主任の岩田祐子教授は「1年次に集中的に英語を学ぶことで、専門授業を英語で学び、レポートや卒業論文を英語で書く力、リベラルアーツ教育に欠かせない批判的思考力を習得することができます。ELAはリベラルアーツ教育の基盤と言えます」と話す。

こうしてELAを通じて身につけた「英語力」や「アカデミックスキル」を実践する場も提供される。夏休みを利用して単位の一部を修得できる「海外英語研修 (SEA = Study English Abroad) プログラム」は、異文化体験をしながら集中的に英語を学び、コミュニケーション力を高めるものだ。1年次の「フレッシュマンSEAプログラム」、2年次の「ソフォモアSEAプログラム」のいずれも夏休み中に6週間、英米などの英語圏の大学で学ぶ。これらを経験したのち、3年次からの9ヵ月間の交換留学を目指す学生も多い。

このほかにも、ワークキャンプや授業での海外実習といった短期留学プログラムに参加し、海外で実践的に英語力を磨く機会が数多く用意されている。

「3年次に交換留学を希望する学生には、大学によってはIELTS6.5以上という英語力が求められるため、1、2年次にどれだけ英語力をつけるかが重要です。ELAのプログラムは、修了後に英語で授業をスムーズに学べる力を身につけることを目的としており、それは交換留学先での学びにも通じるものです」と岩田教授は述べる。

複雑化する社会を  
タフに生き抜く人に

1953年の創学以来、ICUでは学問分野の垣根を超えた学びを可能にするカリキュラムを設け、学生が主体的に学ぶ授業を大切にしてきた。学生が本当に学びたいことを見つけられるように、入学時に専門を決めず、幅広い分野の科目で学問の基礎力を身につけ、興味のある分野

を絞り、2年次の終わりにメジャーを決定するという学び方は、ICUの特色のひとつだ。

学生はICUに入学すると、ELAで英語力やアカデミックスキルを身につけるほか、一般教育科目、文系・理系30あまりのメジャーの基礎科目などを幅広く学ぶなかで、自分の適性を見出していく。メジャー決定の際には、1つの分野を修める「メジャー」のほか、2つのメジャーを修める「ダブルメジャー」、そして2つのメジャーの比率を変えて履修する「メジャー、マイナー」から1つを選ぶ。こうして3、4年次には幅広い分野を履修しつつ、自分の選択したメジャーについて学びを深める。

「メジャー制は、学生が納得して自分が学びたいテーマを見つけるための時間とチャンスを与える機会になっている」と岩田教授。「2年次までにいろいろなテーマと向き合うからこそ、自分がどんなトピックに関心があるのか、何を本当に学びたいのかを幅広い視野で選ぶことができるのです」と強調する。

ICUでの学びは、自分の可能性を見つけ、主体的に生きていく力を養う教育だという。これからグローバル化の進む社会へと羽ばたいていく学生たちには、まず自分を見つめ、自分の可能性を見出すこと。そして、いろいろな経験を積みながら、問題を自ら発見し、解決する力を身につけてほしいと岩田教授は話す。

「グローバル人材が社会で求められていますが、英語ができるだけではグローバル人材とは言えません。ただし、英語力不足で活躍できない、とはなってほしくないとも思いません。そのためにもELAでしっかりと学び、英語力と批判的思考力を身につけ、問題解決能力を磨いてほしいと考えています。簡単に答えの出ない複雑化する社会においては、問題解決能力が不可欠です。大学4年間は社会へ巣立つ前の助走期間。いろいろなことに勇氣を持って取り組み、自ら行動を起こし、どんな困難にも打ち克ち、タフに生き抜いていく力を身につけた人こそが、グローバル人材と言えるのではないのでしょうか」



大学で学ぶ大切な土台づくりを担うELA。



少数制で双方向のやりとりも多い。

## 国際基督教大学

キリスト教精神に基づき、日本で初めて「国際」を冠して1953年に開学。リベラルアーツ教育に重きを置き、2年次の終わりにメジャー（専修分野）を決定する。「個」を大切にす少数教育と、「対話」を重視した授業を特色とする。



Vol.25 by Kazuaki Nagata

# 英字新聞記者の視点

## 日本のニュースを英語で発信しよう

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、物事の背景を理解し、わかりやすく説明するスキルが求められる。英字新聞 The Japan Times の記者に、日本の「今」を世界に伝えるためのコツを教えてください。

### Topic 01

## インターネットで遺伝子検査

Genomics has been progressing at an impressive pace in recent years, inspiring expectations that it will someday become an essential part of medical care. Two Japanese Internet firms, DeNA Co. and Yahoo Japan Corp., believe that future is just around the corner and are launching DNA analysis services.

近年、ゲノム科学は急速なペースで進歩し、いつしか医療のなかで欠かせない役割を担うのではないかと期待されている。DeNAとYahoo! ジャパンという2つの日本のインターネット企業は、未来はもうすぐそこにあるものと考え、DNA解析のサービスをスタートさせる。

### 自宅で申し込み ネットで結果を閲覧

インターネットサービスの大手であるDeNAとYahoo! ジャパンは、最近、個人の遺伝子を解析するサービスの受付を開始しました。例えばDeNAのMYCODE (<https://mycode.jp/>) は、インターネットで申し込みをすると自宅に検査キットが送られてきて、それを返送するとネット上で自分の検査結果が閲覧できるようになるというものです。検査の項目はがん、生活習慣病といった病気予防にまつわるものや、体質、ダイエット、美容といったものなど、280項目にもおよび、すべてを検査するかその一部だけにするか、自分で選ぶことができるようになっています。Yahoo! ジャパンは遺伝子解析を専門にしている会社と組んで、10月からサービスを開始する予定です (<http://medical.yahoo.co.jp/hdl/>)。こちらでもネットで簡単に申し込みができて、いろいろな病気のリスク等を

調べてくれます。アメリカには23andMe (<https://www.23andme.com/>) など同様の個人向けの遺伝子解析サービスがありますが、日本ではこれまで馴染みがなかったビジネスに注目が集まっています。

### IT企業の特徴を生かして 膨大なデータを処理

病気を予防するための新しいサービスとして役立ちそうですが、「なぜ医療機関ではなく、インターネットの会社が？」と、疑問に思う人もいるかもしれません。DeNAやYahoo! ジャパンによると、実はこのサービスは、インターネット企業ならではの特性を生かすことができるのだそうです。

遺伝子の情報は膨大な量となり、しかも個人のプライバシーを守るため、高度なセキュリティ対策が必要とされます。インターネットサービス会社のデータ処理能力やセキュリティ技術を、こういった点で大いに生かすことができるのです。また、遺伝子解析の結果

今月の記者 永田一章さん

2007年ジャパンタイムズ入社。ビジネス、IT、エレクトロニクス関連を主に担当。最新テクノロジーや国内外の企業の最新動向などを取材。



DeNAが主催した東京大学医科学研究所でのワークショップ

を見て病気のリスクに対してどのように理解したらよいか難しい部分もあり、誤解を招く恐れもあります。DeNAやYahoo! ジャパンのように一般ユーザー向けにサービスを行っている会社には、どのような病気の予防に役立つのかといったことをわかりやすく伝えるためのノウハウがあり、さらに生活改善のためのアドバイスを行うという工夫もされています。

遺伝子と病気がどのように結びついているのかイメージしにくい人もいますが、例えばがんが発症する可能性は特定の

遺伝子と結びついていることが、これまでの研究からわかっています。インターネットサービス会社が蓄積する大量のデータにより、今後の遺伝子研究がさらに進むことも期待されています。どのような項目について検査できるのか、どういったアドバイスが得られるのか、興味があれば、それぞれのサイトで確認してみてください。

\*参考記事  
<http://www.japantimes.co.jp/news/2014/08/27/business/dena-yahoo-japan-turn-dna-analysis/#.VBGSm5RdX1Y>

### Topic 02

## インスタントカメラが復活

Digital cameras and smartphones have become so pervasive that many people think film cameras are now fit only for antique collectors. Fujifilm Corp., however, is bucking the trend, successfully targeting young female consumers with its instant camera series, better known as Cheki in Japan.

デジタルカメラやスマートフォンが広く普及し、フィルムカメラは今や過去の遺物の収集家向けであると思っている人も多いようだ。しかし、富士フィルムはこの風潮に逆らい、日本では「チェキ」として知られるインスタントカメラのシリーズを、若い女性にターゲットを絞って成功させている。

### 復活のきっかけは 韓国の恋愛ドラマ

若い世代のなかには、フィルムカメラを使ったことがない人が多いかもしれません。「チェキ」のようなインスタントカメラは、カメラにフィルムをセットし、撮影するとすぐにその場でカメラからプリントが出てくるというもので

す。「若者にとっては、撮ったものがすぐにプリントされるのが、とても新鮮に映るようです」と、富士フィルムの担当者は語っていました。失敗した写真もそのままプリントされてしまいますが、それもまたデジタルしか知らない世代にはおもしろく感じられるようです。

チェキは1998年に発売され、一時ヒット商品となりましたが、デジタルカメラやカメ

ラ付き携帯の普及に押され、2004年には販売台数が最盛期の10分の1にまで落ち込みました。ところが、思いがけないところに復活のきっかけがありました。2007年、韓国の恋愛ドラマの1シーンでチェキが使われ、「あれは何だろう」と、韓国国内で一躍話題になったのです。これに気づいた富士フィルムは、他の韓国ドラマでもチェキを使ってくれるよう売り込み、その結果、韓国での利用者が一気に増えました。また、中国では若者に人気の女性モデルがブログにチェキで撮影した写真を載せていたことから、中国の人気モデルたちに同じようにチェキを使ってくれるよう依頼し、中国でのファンを増やすことに成功したのです。

今やチェキの売り上げの85パーセントはアジアを中心とする海外の国々で、カメラの売り上げ全体で見ると、富士フィルムは今年度デジタルカメラの販売台数目標を全世界で年間200万台としているのに対し、チェキシリーズは年間300万台としています。

### 自分なりに工夫して 使えるのが魅力

海外での勢いを受けて、日本でもチェキの人气が再燃しています。特に若い女性にターゲットを絞り、カメラ本体にピンクやイエローなど従来なかった色を使い、ケースやデコレーション用のシールなど、アクセサリも充実させています。日本の女子中学生に人気の雑誌とタイアップしてアピールするなどして、中学生から20代の女性まで幅広く使われるようになりました。カメラ専門店だけでなく、雑貨店でも売っているのを見かけます。

使い方も、人物や風景を撮るだけでなく、身の回りの持ち物や自分の作った料理の写真を撮ってコレクションするなど、これまでのカメラにはなかった用途が見られます。自分なりの使い方を工夫できるところが、またおもしろいかもしれません。

\*参考記事  
<http://www.japantimes.co.jp/news/2014/08/14/business/corporate-business/instant-camera-gets-mojo-back-cute-focus-korean-push/#.VBGbyJRdX1Y>



This month's selections from The Japan Times

～ 英文記事を読んでもよう～

## Canceled Tottori mascot makes controversial comeback in manga

MAGDALENA OSUMI  
STAFF WRITER

A Tottori mascot that was ditched by the city three days after its July debut due to its depressing appearance has made a surprising — if somewhat controversial — comeback.

The city of Tottori unveiled a female character called Katsue-san as a tool to promote itself. The character appeared on the city's official website on July 7 but was canceled by the board of education on July 10 following a public outcry.

However, Katsue-san has been revived in recent issues of "Big Comic," the semimonthly manga magazine published by Shogakukan Inc.

The character — a teenage girl with a pained look who is dressed in patched clothes and holding a frog in one hand — was inspired by a real-life tragedy that took place at Tottori Castle in the 16th century.

"When the city of Tottori introduced Katsue-san, I thought it was a good chance for young people to learn more about Tottori's history," said cartoonist Hiroshi Kurogane, the author of two of the serialized manga stories.

Installments that depict Katsue-san ran in Aug. 25 and Sept. 10 issues. One is accompanied by a note by Kurogane that reads: "I give you my support."

"As an artist I felt obliged to use such a rare and interesting character to tell what really happened (historically)," Kurogane told The Japan Times.

"I just felt sorry for her, as it was probably the first such character with a profound significance," he said, underlining the mascot's historical link.

"Teaching history is the primary role of a regional character," he stressed, adding that "amid the recent boom in history learning among young Japanese, many young locals may not even know the history of their own region."

Katsue-san was named after a historical event known as "katsue-goroshi" (killing by starvation) in Tottori. Back in the 16th century, many people died from the starvation tactics used by warlord Hashiba Hideyoshi, who later changed his name to Toyotomi Hideyoshi.

The Katsue-san mascot is styled after one of the peasants outside the castle who was driven inside by Hideyoshi,

who was sent by powerful warlord Oda Nobunaga to take over Tottori Castle by forcing his opponents to use up their supplies more quickly.

But the plan to use the character to teach regional history fizzled in July after residents protested the character looks too "bizarre" and makes the city look like it is "making fun of hunger."

The turn of events involving the character upset well-known cartoonist Kurogane so much that he decided to include Katsue-san in his comic strip "Akabee" even though the Tottori Municipal Government explicitly banned secondary use of the character.

The artist expressed disappointment with cancelation of the character, saying it could have become a star in a different era, had it not been compared with the modern fluffy "yuru-kyara" mascots promoting cities and regions nationwide.

"I could have become like Funassyi," Katsue-san says in the strip, referring to the pear-shaped unofficial mascot of Funabashi, Chiba Prefecture. "But I'm not as cheerful as Funassyi."

In the magazine's Sept. 10 issue, Kurogane introduced a female character of his own named "Hiiko-chan," referring to a similar starvation tactic employed by Hideyoshi during the long siege of Miki Castle in what is now the city of Miki, Hyogo Prefecture.

Kurogane expressed skepticism toward the nationwide craze with cuddly mascots and said society is too preoccupied with appearance and formalities.



Katsue-san, a character designed to promote the city of Tottori, was withdrawn three days after its July debut, in response to negative public reaction. KYODO

Tottori municipal officials said they have yet to decide whether to take any on the apparent copyright infringement.

Shunsuke Morishita, manager at the Tottori Municipal Government's cultural property division, said "We will think about taking steps" if the publisher continues to run other stories.

Morishita hinted that Big Comic's move to revive the character could end up boosting the city's profile. But he also expressed concern that using the character could hurt its image.

Kurogane said he does not plan to use Katsue-san again, noting that the two stories were published with the consent of the mascot's original author, who is reportedly a 40-year-old Tottori resident.

"The character itself was ditched," Kurogane said. "So what is the point of talking about its copyright?"

The Japan Times ・ 日本英語検定協会 ・ 大阪大学外国語学部英語専攻 主催

# 理系大学院生 英語プレゼンテーション コンテスト JAPAN TIMES 杯

## 参加者募集

大学院生による国際学会などでの発表の場が増え、英語によるプレゼンテーション技術の向上が求められています。そのための取り組みの一環として、下記要項のとおり、理系大学院生の英語プレゼンテーションコンテストを開催します。大学院生の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

日時 2014年11月1日(土) 午後1時より4時 | 応募締切 10月10日(金) 応募の詳細は下記の実施要項をご覧ください。

場所 大阪大学中之島キャンパス201 | 対象 理系(理学、工学、医学、歯学、薬学) 大学院生

### 理系大学院生の英語によるプレゼンテーションコンテスト 実施要項

**趣 旨** 理系の大学院生の英語によるプレゼンテーションの技術の向上を図るため、コンテストを実施する。

**発表内容** 取り組んでいる研究について、PPTを用いて一般向けに英語で説明する。(発表は15分以内、その後5分の英語による質疑応答を行う)

**審 査** プレゼンテーションの技術に優れたものから優勝、準優勝者を選び、表彰するとともに副賞(記念品および図書券優勝1万円、準優勝5千円)を授与する。

#### 応募方法

2014年10月10日金曜日までに下記のメールアドレスに、氏名、所属、連絡先を明記し、発表内容を記した英文PPTのファイルと3分以内の英語でのプレゼンを撮影した動画ファイルを送付すること。(動画撮影ができない場合には、10月11日土曜日に大阪大学中之島センターにおいて、撮影を行うのであらかじめ申し出ること) 予備審査の結果は、10月25日土曜日までに通知する。

問い合わせ先 公益財団法人 日本英語検定協会教育事業部 通信教育課 英語プレゼンテーション係 TEL : 03-3266-8028 E-mail : stepbulats@eiken.or.jp

## グローバル企業訪問 | Vol. 25 | ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社



# 地域に根づいた商品を展開 世界有数の消費材メーカー

およそ 190 カ国で日用品のブランドを展開する世界最大級の消費材メーカー、ユニリーバ。日本法人として設立されたユニリーバ・ジャパンは日本人の嗜好に合わせた商品を開発・販売し、暮らしに密着したロングセラー商品も数多い。

## 世界で愛されるブランドを 日本市場に合わせて展開

「ラックス」「リプトン」「ダヴ」といえば、毎日のように手にする身近な日用品の代表選手である。これらのブランドを扱うのが世界最大級の消費材メーカー「ユニリーバ」。スキンケア、デオドラント、紅茶、アイスクリームなど7つのカテゴリーで世界シェア1位を誇り、毎日世界中で20億人がユニリーバの商品を購入しているという。

1890年代のイギリスで産声を上げたユニリーバは、食品部門と日用品部門を二本柱に、多くのブランドの立ち上げ・買収を行いながら世界企業へと成長し、1964年には日本法人を設立。家庭用マーガリン「ラーマ」や化粧石鹸「ラックス」の発売を皮切りに、住居用洗剤、ヘアケアブランド、スキンケアブランドを充実させ、今では日本の暮らしになくてはならない14のブランドを展開するメーカーへと成長している。

「外資系メーカーの日本法人というと、輸入会社ではないかとよく勘違いされます。ですが、ユニリーバ・ジャパンでは日本の消費者に向けて、味や香りの好み、髪質や肌の特徴、指通りや泡切れといった使い心地までを含めた嗜好を調査し、日本向けの商品を開発しています。つまり、商品開発・生産・販売を一貫して行うメーカーなんです。当然、研究施設や生産拠点となる工場も保有しています」

こう説明するのは、ヒューマンリソース部門マネジャーとしてグループ全体の新卒採用、リーダーシップ開発を担当する柳原美穂さん。

同じブランドでも、国や地域の特性に合わせた商品開発を行っている。例えば、ラックスのヘアケアシリーズは、世界に先駆けて日本で開発・発売された商品だ。

「同製品では、これまでにのべ8万人を超える日本女性に製品テストを行い、作った試作品は2万以上に上ります。日本での成功を受け、今では海外にも広がりました」

## グローバル企業ならではの強みをフル活用

さて、ユニリーバのようなグローバル企業での仕事の進め方には、どんな特徴があるのだろうか。柳原さんは、2つの大きなメリットを挙げて説明する。

「ユニリーバ・ジャパンは社員520名という規模の会社。にもかかわらず、自社商品としてラックスやリプトンといった世界中で愛されている一流ブランドを扱うことができる。これがいちばん大きなメリットです。2つ目は、ユニリーバや各ブランドが世界中で長年かけて培ってきたノウハウを、フルに使ってビジネスができるということ。それがあるからこそ、大手の顧客とも長期的な関係を築いていけるし、そこを土台にして新しい

商品開発を進めていける。そしてラックスのヘアケアシリーズのように、ノウハウごと世界中でシェアできるという利点があります。その分、どんな業務に関しても日本だけで完結することはなく、グローバルネットワークを使いながら仕事を進めていくことが求められる。これは大きなメリットであり、なおかつ大変な部分でもありますね(笑)」

常に世界と日本の両方を見据えながら仕事をするというスタンスは、柳原さんの担当する人事部門でも共通している。柳原さんは、直属の上司であるコロンビア人(中国法人に在籍)と、二週間に一度スカイプで定期ミーティングを行い、リーダー育成や採用についてのアイデアを相談し、プランを練る。

「人事担当者として最大のメリットと感じているのは、世界共通のトレーニングプログラムがあり、各国で自由に使えるようになっていること。例えば、リーダーシップ育成では、実務に就きながら1年かけて実施できるプログラムが、各層ごとに、完璧な形で提供されています。これを日本向けにアレンジして実施し、学びの効果を高めています」



ヒューマンリソース部門マネジャーの柳原美穂さん

## 求める人材は パッションを持った人

ユニリーバの公用語は英語。日本でも職種によってかなり幅はあるが、日常業務の半分以上が英語というポジションもある。

「基本的に英語力は必要です。採用の条件として英語能力の基準も設けています。ただしそれは、物怖じせず英語を聞け、話せるという程度。入社後は実務のなかで力をつけてもらっています」と柳原さん。採用実績としては、マーケティング、営業、サプライチェーンの3部門で毎年10名前後。一次面接で短くて30分、二次面接では1時間以上かけてじっくりと話を聞かなかで、最も重視しているのはその人の持つ「リーダーシップ」だという。

「多様性のある職場環境で、チームとして最高の結果が出るような工夫と働きかけができる人。必ずしもぐいぐい引っ張るだけがリーダーシップではありませんよね」

例えば、この人のためなら一肌脱ごう……と思わせる人。身近にそういう人がいたら、その人は何をやってたのか、何を言っていたのか。それをよく見て考えてみてほしい、と柳原さん。

「考えて、意図してやってみて、失敗して、そして学ぶ。これを自分で実践してきた人は強いです。そういう人は、じっくり話せばわかります」

- 人物像として求めているのは、
- ① 論理的・概念的な思考ができる。
  - ② 多様性のある職場が楽しいと思える。
  - ③ 不確定要素を多くはらんだグローバル企業で、道を切り拓くタフさを持っている。
  - ④ パッションを持っている。

なかでも柳原さんがいちばん大切だと強調



誰もが一度は手にしたことのあるユニリーバの商品。1日に20億人が手にしているという。



日本の「リプトンイエローラベル」は環境や人に配慮した茶園の茶葉を100%使用。

するのは4つ目。仕事を通して何かを成し遂げたいという情熱や意欲を持っている人と、ぜひ一緒に働きたい、と熱く話す。

「自分が何をしたいのか、何が嫌なのかをわからずに就職活動を始めてしまうようなことは、絶対にやめてほしい。家族よりも長い時間を過ごすことになる会社なのだから、仕事を通じて幸せになっていただきたい。だから面接のテクニックなんか磨いてこないで、本当はどう思っているのか、自分をさらけ出

してほしいと思います。そうやって内定をもらった会社で働きたいと思いませんか？」

大学名や専攻にこだわらず、その人の興味や強みを重視するというのも、ユニリーバにおける伝統的な採用基準とのことだ。

### 育成プログラムの一環で若手にも海外勤務の機会

新卒採用であっても、入社後はどんどん仕事を任せて早く成長してもらう、というのが

ユニリーバ・ジャパンの基本スタンスだ。そのため、職種別に採用された新卒採用の社員全員を対象に、4年間の「ユニリーバ・フューチャーリーダー・プログラム」が用意されている。採用されたそれぞれの部門のなかで、ローテーションでさまざまな業務に就いていくもので、他部門の経験をする場合も多い。経験を広く持つことで、会社全体、ビジネス全体についての理解も深めるという効果を狙っている。ひとつの職種をだいたい1年ずつ経験していくが、そのなかに海外での業務が含まれることも多い。

「できるだけ若いうちに海外での経験を積んでもらう目的は、異文化のなかで実務に就き、さまざまな試みを体験し、苦労してきてほしいため。その経験を通して、社内でより責任を持った仕事ができる人材に育ててほしいと考えるからです」と柳原さん。

2010年、ユニリーバでは「サステナブル・リビング・プラン」という全社的目標を発表した。2020年を目処に、製品のライフサイクル全体から生じる温室効果ガスや廃棄物、製品を使う際の水使用量などを1/2に減ら

し、なおかつ社会に貢献しながら、ビジネスの規模を2倍にすることを目指す。

一見無謀とも思えるほどの困難な目標に向けて、それでも世界中のユニリーバ全社員は地道な努力を積み重ね、着実に成果を挙げているという。その姿はまるで、「小さなものの積み重ねが暮らしを変え、より良い明日を実現する」という、100年以上前の創業時に掲げられた企業理念そのものである。

### Corporate Information

#### ユニリーバ・ジャパン

1890年代のイギリスに誕生した石鹼会社を発祥とする多国籍企業「ユニリーバ」は、洗剤などのホームケア、化粧品・シャンプーなどのパーソナルケア、および食品を含む一般消費財メーカーであり、現在約190カ国にブランドを展開している。代表的なブランドは、「ラックス」「ダヴ」「モッズ・ヘア」「リプトン」など。1964年に設立された日本法人「ユニリーバ・ジャパン」は、グループ全体で約520名の社員を有する。設立以来、日本文化に即した商品開発を続け、日本発のヒット商品も数多く生み出している。

### グローバル企業の先輩に聞く！

## 毎日の小さな積み重ねで「ユニリーバらしさ」を追求

### 新名 司さん

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社  
コミュニケーション  
アシスタント コミュニケーション マネジャー

#### Q ユニリーバ・ジャパンを志望した動機は？

日本の大学で国際関係学と教育学を専攻し、開発途上国の教育に関して学んでいました。就職を考えるなかで、環境や貧困といった社会の課題を広く知らせ、協力を呼びかける広報の仕事に興味を持ち、米国シラキュース大学のパブリックコミュニケーションズ学部へ留学。在学中、ユニリーバ本社が深く関わる「世界水フォーラム」という国際会議が京都で開催されたのを機に、ユニリーバ・ジャパンで1カ月のインターンシップを行い、プレスリリースや資料の作成、翻訳といった広報の仕事を経験しました。その仕事がおもしろく、オープンでフラットな社風にも魅力を感じたので、新卒採用に応募することを決めました。

#### Q 広報の仕事の内容を教えてください。

入社からしばらくは社内広報を担当していましたが、現在はメディア対応や企業メッセージの作成といった対外的な仕事がほとんどです。ほかには、会社案内や企業ウェブサイトの作成、セミナーやフォーラムの開催時に必要となる講演資料やスピーチを書くこともあります。また、サステナビリティ関連のプログラムや、東日本大震災復興のプログラムも担当しています。

#### Q サステナビリティ関連のプログラムとは？

まずは「ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン」の社内での理解を深めることが先決でした。2010年の導入時には、社としての本気度を示し、より大きなインパクトを伴って受け止めてもらえるよう、渋谷の映画館を借り切って社内会議を開催し、グローバルCEOが自らプランの概要や社としての意気込みを語る動画を上映しました。サステナビリティはこれからのユニリーバの基盤であり強みともなります。欧米では既に、商品を選ぶ際、品質や使い心地、味だけではなく、環境や人に配慮した商品を買いたいと考える消費者の方が増えてきています。日本でも、新卒採用に応募する学生のなかに、サステナビリティへの取り組みに興味をひかれた、という人が増えています。取り組みを着実に進めることで、「ユニリーバの商品を買いたい」「ユニリーバで働きたい」「ユニリーバで働いてよかった」という人を、もっと増やしていければと考えています。

#### Q 海外との共同作業とは具体的にどんな仕事？

2005年に日本法人が「日本リーバ」から「ユニリーバ・ジャパン」になったことが転機になりました。国ごとにバラバラだったロゴやビジョン、戦略、組織を世界中で統一することになり、グローバル企業としての強みを最大化し

つつ、日本で受け入れられるような着地点を探して、頻りに海外とやり取りをするようになりました。今もいろいろな面でグローバルとローカルのベストバランスを探っています。

#### Q ユニリーバならではの楽しさ、大変さは？

ユニリーバは非常にブランドを大切にしています。例えばリプトンのブランドマネジャーなら、事業計画を立てる時も商品開発においても常にそれがリプトンらしいかどうかを考えています。私も入社2年目の頃、海外の上司から言われた「君はこれから“ユニリーバ”という最大のブランドを担当するマネジャーになるんだよ」という言葉を忘れずに、常にユニリーバらしいかを考え、判断基準にしています。それでは「ユニリーバらしさ」とは何か。ユニリーバは世界有数の消費財メーカーですが、始まりはビクトリア時代の英国に生まれた小さな石鹼です。当時の英国は不衛生による病気に苦しむ人が絶えませんでした。この石鹼が普及したことで衛生観念が変わり、暮らしが大きく変わったと伝えられています。「小さな積み重ねが、現在や未来の暮らしを変え、大きな力に」という価値観は、今もユニリー



米国シラキュース大学に留学中、ユニリーバ・ジャパンにてインターンシップを体験、卒業後の1994年に入社。一貫して広報業務に携わる。サステナビリティ関連プログラムも担当。

バに受け継がれています。東北の震災復興支援に関しても、1回寄付して終わりではなく、小さくても本当に必要とされていることを積み重ね、長く支援していこうという方向を定めました。それがクリック募金であり、今も継続している「ユニリーバこども笑顔プロジェクト」なのです。

### 新名さんのお仕事 アイテム

会議の予定が何度変更してもいいように、記入はシャープペンシルで。仕事の準備範囲が広いので、ToDoリストを作って対応し、一日の最後にチェック。会社を一步出たら、いったん忘れて気持ちを切り替えます。



# 失敗は成功のカギ！ 留学トラブル解決策

留学  
カウンセラーに  
聞く

留学でよくある失敗やトラブルを知っておけば、海外留学を成功に導くための方法が見えてくる。留学カウンセラーとして30年以上の長きにわたって多くの留学生と対話してきた藤延芳子さんに、留学トラブルを回避する方策を教えていただいた。

藤延芳子さん

ヨーク国際留学センターチーフ留学カウンセラー、日本認定留学カウンセラー協会（JACSAC）会長。日本の留学カウンセラーの草分け的存在として、30年以上にわたって多くの相談者と向き合い、人間的な成長が望める最適な留学プランを提案している。ヨーク国際留学センター <http://www.york-global.jp/>

## Case 01

### 授業の内容がわからず クラスになじめません。

留学して1週間が経ちましたが、現地の授業にまったくついていなくて落ち込んでいます。教授やクラスメイトの活発なディスカッションに入っていき、自分だけ置いていかれたような気持ちに……。どのようにクラスになじんでいけばよいか悩んでいます。



## Advice

### とにかく発言して存在をアピール

大学の授業は専門的でネイティブにとっても難しいものですので、留学したばかりの学生がついていけないのは当たり前。でも、落ち込まなくていいのです。多くの学生が1ヵ月ほど辛いながらも授業に出続ければ、ある程度慣れ、理解できるようになるといいます。

海外の授業スタイルで日本と違う点はまず、発言が求められること。教授は常に学生に問いかけ意見が活発に交換されます。一方、黙っていればその場にはいないとされることも。留学経験者に話を聞くと、こうした状況を克服するには「予習時に意見や質問を用意」「教室の一番前に座って存在をアピール」「オフィスアワーで教授に質問

といった努力をしています。スマートな発言をする必要はありません。わかりきっていることでもまずは発言しましょう。それが「participation（授業への参加）」の採点にも反映されます。

また、予習が必須な点も海外の特徴。1回の授業のためにネイティブの学生でも2～3時間はかけて教科書を読みこむのですが、どうしても間に合わない場合は、教授に相談してみましょう。読むべきポイントを教えてくれるなど、前向きな学生には手を差し伸べてくれるはず。「英語が間違っている」とか「初歩的な質問だ」なんてことは気にせず、素直になって周りとのコミュニケーションをとること。それが授業になじむコツですよ。

## Case 02

### 友人が盗難被害に！ 治安の悪さに不安な毎日。

アメリカに留学中。先日、クラスメイトが街を歩いているときに盗難にあい、怖い思いをしたと聞き、海外の治安の悪さに不安を覚えています。通り一本入ると雰囲気がかかりと悪くなるエリアも。今後、どのようなことに気をつけて生活すればよいのでしょうか。



イラスト：よねやまゆうこ

## Advice

### 現地の情報を早い段階でリサーチ！

治安について、留学前のオリエンテーションで必ずお伝えする注意点が、現地では「大金を持ち歩かないこと」「ブランド品を持たないこと」「暗くなったら一人で歩かないこと」「危険な地域を早い時期に見極めること」。夜食を買いに出かけたファストフード店で、大きな額の紙幣を出して支払い、その帰りに「財布を出せ」と脅され取られてしまった学生がいました。おそらくレジの様子を外から見られていたのでしょう。海外では、治安の良い日本で育った学生には信じがたい、恐ろしいことが実際に起こります。最低限、冒頭の4点は守るようにしてください。

また、海外のキャンパスは一般に開放されてい

るところも多く、住民の憩いの場として魅力的ですが、それは治安面での危険を伴うということ。アメリカの大学ではキャンパスポリスが巡回しているほか、電話一本で夜間に構内を歩く学生を護衛し、寮やアパートまで送り届けてくれる「エスコートサービス」が整っています。学内図書館の多くは夜中まで開いていますので、遅くまで館内で調べものやレポート作成をすることもできるでしょう。夜道を歩いて帰るときはぜひ活用してください。現地の治安や学内サポートについては、大学が主催する留学生対象のオリエンテーションで情報を得るほか、早い段階で先輩やクラスメイトに教えてもらいましょう。

未来の  
グローバル  
リーダーに

## 読んでほしい1冊 『The Powers to Lead』

BOOK REVIEW

### Defining “Leadership”

The Powers to Lead is, as the title suggests, a book on leadership. But unlike most books on this subject, The Powers to Lead is less of a how-to, and more of an attempt at explaining what leadership is and how it takes on different forms in different situations. In fact, one of the main premises of the book is that there is no exact definition of what leadership is. Rather, leadership is like an art form that must be adapted using what Nye calls “smart power”—the ability to analyze a situation and fit one’s resources of power to those circumstances. Those resources are, namely, “hard” and “soft” power.

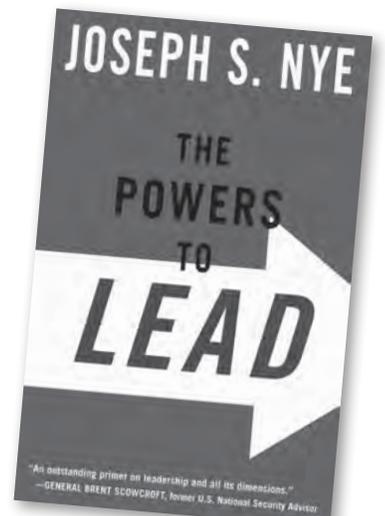
### Leadership in Context

Although concepts of hard and soft power are already established in the area of leadership study, Nye expands on these ideas to show how different balances of these two types of

power—coercion and co-opting—are required depending on the situation. Nye says that a truly competent leader is able to read the context of a situation and understand group needs in order to understand what that balance should be. Nye calls this ability “contextual intelligence,” and he provides examples from history to show the past successes and failures of various leaders.

### The Good and Bad

Nye addresses a multitude of points in explaining what “good” leaders are made of. These include how leaders are made, how they shape or are shaped by events, and how judging a leader as “good” or “bad” depends on whether that judgment is based on effectiveness or morality. The Powers to Lead is well suited to anyone who is in charge of guiding a group of people to a common goal, and as the book shows, a good leader does not rely on a set way of leading, but adjusts his or her leadership style to each situation. (英検グローバルリーダー研究グループ 竹本リディア)



JOSEPH S. NYE  
The Oxford University Press /  
\$24.95, £16.99

# 奨学金情報

みなさんの留学をサポートしてくれる奨学金制度をご紹介します。それぞれ、年齢や居住地域など応募条件が異なるため、必ず事前に問い合わせしてから応募しよう。

1) 給付元 2) 募集期間 3) 募集人数 4) 給付内容 5) お問い合わせ

## 日本政府奨学金

### ● 海外留学支援制度（長期派遣）

- 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
- 2) 在籍大学に問い合わせ
- 3) 25名程度
- 4) 月額 89,000円～148,000円（派遣先地域による）、授業料実費（上限250万円）
- 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 長期派遣担当）

### ● 海外留学支援制度（短期派遣）

- 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
- 2) 在籍大学に問合せ
- 3) 未定
- 4) 月額6万円～10万円（派遣先地域による）
- 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 短期留学（派遣）担当）

## 地方自治体奨学金

### ● 茨木市国際親善都市協会 留学生奨学金

- 1) 茨木市国際親善都市協会
- 2) 5月頃
- 3) 未定
- 4) 年額6万円
- 5) 072-620-1604

### ● 埼玉県・オハイオ州スカラシップ 機械工学系

- 1) ニッシン・ブレーキ・オハイオからフィンドレー大学に寄附
- 2) 10月初旬〆切
- 3) 2名
- 4) 2万ドル（授業料、住居費等）
- 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

### ● 埼玉県・オハイオ州スカラシップ 総合系

- 1) 埼玉県
- 2) 10月初旬〆切
- 3) 1名
- 4) 授業料
- 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

### ● 「埼玉発世界行き」学位取得コース

- 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
- 2) 4月下旬～6月上旬
- 3) 15名以内
- 4) ①年間世帯所得が600万円未満の方、年間100万円以内 ②同600万円以上800万円未満の方、年間75万円以内 ③同800万円以上の方、年間50万円以内
- 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉

### ● 「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース

- 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
- 2) 4月下旬～6月上旬
- 3) 200名以内
- 4) 20万円以内
- 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉

### ● 「埼玉発世界行き」高校生留学コース

- 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
- 2) 4月下旬～6月上旬
- 3) 50名程度
- 4) ①保護者の所得が600万円未満の場合：留学期間179日以下30万円、留学期間180日以上60万円 ②保護者の所得が600万円以上800万円未満の場合：留学期間179日以下23万円、留学期間180日以上45万円 ③保護者の所得が800万円以上の場合：留学期間179日以下15万円、留学期間180日以上30万円
- 5) 048-830-2711 埼玉県県民生活部国際課 グローバル人材育成担当

### ● 戸田市海外留学奨学制度

- 1) 埼玉県戸田市
- 2) 第1回：7月初旬〆切 第2回：2015年1月16日～2月6日まで
- 3) 若干名
- 4) 授業料及び生活費、渡航費（限度額あり）
- 5) 048-441-1800（教育委員会 教育総務課 総務担当）

### ● (公財) 長岡市米百俵財団 海外高校留学生奨学金

- 1) (公財) 長岡市米百俵財団
- 2) 8月初旬〆切
- 3) 3名
- 4) AFSまたはYFUのプログラム参加費
- 5) 0258-39-2238（事務局）

### ● (公財) 新潟市国際交流協会 新潟市高校生留学支援事業

- 1) (公財) 新潟市国際交流協会
- 2) A日程：6月初旬〆切、B日程：7月初旬〆切
- 3) 3名
- 4) AFSプログラム参加費の半額
- 5) 025-225-2727（高校生留学支援事業係）

### ● 松本・土井アイリン海外留学助成金

- 1) 宝塚市
- 2) 第二回：2014年12月12日〆切 第三回：2015年2月13日〆切
- 3) 未定
- 4) 留学1回につき60万円
- 5) 0797-77-2009（産業文化部 宝のまち創造室 文化政策課）

### ● 三重県私費海外留学生奨学金

- 1) 三重県
- 2) 3月上旬～4月中旬
- 3) 10名以内
- 4) 年間授業料相当額
- 5) 059-223-5006（(公財) 三重県国際交流財団）

### ● 瑞穂町海外留学奨学資金等支給制度

- 1) 瑞穂町教育振興基金
- 2) 毎年6月1日～6月30日（第1期） 毎年1月4日～1月31日（第2期）
- 3) 若干名
- 4) 奨学資金（留学先学校の授業料またはこれに準ずると認められる費用）、渡航費
- 5) 042-557-7469（企画部 企画課 企画係）

### ● 山梨県アイオワ州短期派遣留学生

- 1) アイオワ州姉妹州委員会または留学先
- 2) 4月中旬〆切
- 3) 1名
- 4) 12単位分の授業料など
- 5) 055-223-1436（山梨県観光部 国際交流課 国際交流担当）

### ● 山梨県派遣留学生

- 1) 忠清北道
- 2) 1月上旬〆切
- 3) 1名
- 4) 支度料、滞在費、国内旅費、語学研修費、宿舍管理費、厚生費など
- 5) 055-223-1436（山梨県観光部国際交流課 国際交流担当）

### ● 四日市市科学教育奨学金

- 1) 四日市市教育委員会
- 2) 5月～7月頃
- 3) 毎年1人
- 4) 月額10万円
- 5) 059-354-8236（教育総務課）

### ● 淀江町青少年ゆめ基金活用事業補助金

- 1) 淀江町青少年ゆめ基金活用委員会
- 2) 未定 3) 未定
- 4) 学費、渡航費を200万円まで
- 5) 0859-56-3164

## 民間団体奨学金

### ● IRENA Scholarship Programme

- 1) 国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
- 2) 第一期：5月末〆切、第二期：10月末〆切
- 3) 最大20名
- 4) 授業料、教材費、ノートパソコン、医療保険、住居費、旅費、一部生活費など
- 5) scholars@irena.org

### ● (公財) アステラス病態代謝研究会 海外留学補助金

- 1) (公財) アステラス病態代謝研究会
- 2) 4月～6月上旬
- 3) 10名程度
- 4) 1名あたり200万円
- 5) 03-3244-3397（事務局）

### ● (公財) 飯塚教育英会 海外留学支援奨学金

- 1) (公財) 飯塚教育英会
- 2) 6月中旬～7月中旬
- 3) 15名程度
- 4) 大学生：年額40万円 大学院修士課程：年額60万円 大学院博士課程：年額80万円
- 5) 028-649-2121（事務局）

### ● 石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）

- 1) (公財) 石橋財団
- 2) 6月中
- 3) 5名
- 4) 月額15万円
- 5) 03-5454-5274（(公財) 日本国際教育支援協会 国際交流課 奨学係/担当：藤田）

### ● (公財) 伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金

- 1) (公財) 伊藤国際教育交流財団
- 2) 6月下旬～8月下旬
- 3) 13名
- 4) プログラムA：生活費月額US2000ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラムB：生活費月額US1500～2000ドル相当の円貨、学費、往復旅費
- 5) 03-3299-7872（事務局）

### ● イリノイ大学日本同窓会 小山八郎記念奨学制度

- 1) イリノイ大学日本同窓会
- 2) ～10月31日
- 3) 4名
- 4) 年間授業料
- 5) masa.furuichi@illini-club.jp（小山八郎記念奨学制度担当理事：古市）

### ● オリエンタ財団奨学金

- 1) Fundacao Oriente
- 2) 毎年1月
- 3) 若干名
- 4) 学費、渡航費など
- 5) info@oriente.pt

### ● Kiyu Sakaguchi 奨学金

- 1) プルデンシャル生命保険株式会社
- 2) ～9月30日 3) 1、2名
- 4) 授業料年間最大300万円、最長4年
- 5) 03-5501-5500（代表）

### ● (公財) グルー・バンクロフト基金 奨学金制度

- 1) (公財) グルー・バンクロフト基金
- 2) 9月中旬〆切
- 3) 3～5名
- 4) ①毎年200万円を4年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として100万円を4年間支給（3名） ②毎年100万円を4年間支給（2名）
- 5) 03-3408-6343

### ● 群馬県大学生海外留学奨学金

- 1) (公財) ぐんま国際教育財団
- 2) 4月中旬〆切
- 3) 一般留学：3名 研修留学：5名
- 4) 一般留学：60万円 研修留学：30万円
- 5) 0276-60-3450

### ● 公益信託グラクソ・スミスクライン国際奨学金基金

- 1) グラクソ・スミスクライン株式会社
- 2) 4月上旬～5月中旬
- 3) 3名以内
- 4) 年額360万円を2年間支給
- 5) 03-5786-5000（代表）

### ● 皇太子明仁親王奨学金

- 1) 皇太子明仁親王奨学金財団およびハワイ大学財団
- 2) 11月17日～28日必着
- 3) 1名
- 4) ハワイ大学の学費、生活費等として年間2万5千ドル、渡航旅費（上限あり）
- 5) 03-6741-0161（皇太子明仁親王奨学金日本委員会）

### ● 交流協会奨学金留学生

- 1) (公財) 交流協会
- 2) ～10月24日
- 3) 若干名
- 4) 奨学金：14万4000円（修士課程及び専門職学位課程）、14万5000円（博士課程）の月額基本額に加え、特定の地域で修学・研究する者に対して、月額2000円又は3000円を加算して支給、授業料など
- 5) 03-5573-2600（総務部 奨学金担当）

### ● 国際ロータリー グローバル補助金奨学金

- 1) 国際ロータリーの各地区のロータリー財団
- 2) 随時募集中 3) 未定
- 4) 3万ドル以上
- 5) 各地区ロータリー財団委員会事務局

### ● 国際ロータリー 新地区補助金奨学金

- 1) 国際ロータリーの各地区のロータリー財団
- 2) 各地区により異なる
- 3) 各地区により異なる
- 4) 制限なし
- 5) 各地区ロータリー財団委員会事務局

### ● 佐藤陽国際奨学財団 海外派遣留学生奨学制度

- 1) (公財) 佐藤陽国際奨学財団
- 2) 未定 3) 未定
- 4) 奨学金月額8万円、渡航費25万円、交換留学一時金10万円
- 5) 03-5487-2775（事務局）

### ● CWAJ 海外留学大学院女子奨学金（SA）

- 1) College Women's Association of Japan
- 2) 10月24日～11月4日
- 3) 1名
- 4) 300万円
- 5) scholarship@c waj.org

### ● 静岡県国際交流協会 ネブラスカ州立大学オマハ校 牧野スカラシップ

- 1) (公財) 静岡県国際交流協会
- 2) 5月中旬〆切
- 3) 1名
- 4) 正規授業料減免（通常の約3分の1を最長5年間、渡航費一部負担）
- 5) 054-354-2009

### ● 私費訪中留学生奨学金

- 1) (公財) 東華教育文化交流財団
- 2) 毎年6月
- 3) 未定
- 4) 月額3万円を1年間
- 5) 03-3571-7613

### ● 秀桜基金留学賞

- 1) 秀桜基金
- 2) ～10月31日
- 3) 3名
- 4) 300万円
- 5) 086-528-9530（秀桜基金事務局）

### ● 高橋&ハワット記念奨学金

- 1) NPO 日本スコットランド協会
- 2) 3月～4月
- 3) 2名
- 4) 30万円
- 5) 03-6380-5256

### ● ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業

- 1) (公財) ダスキン愛の輪基金
- 2) ～11月15日
- 3) 計8名程度
- 4) 上限4万USドル（渡航費・研修委託費・日常生活費等）
- 5) 06-6821-5270

### ● (公財) 中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生

- 1) (公財) 中島記念国際交流財団
- 2) 8月中
- 3) 10名程度
- 4) 奨学金：月額20万円、渡航費：往復支給、支度金：20万円、授業料：留学当初の2年間に限り、年間300万円以内を支給
- 5) 03-5770-8210

### ● (公財) 中富健康科学振興財団 留学助成金

- 1) 久光製薬株式会社
- 2) ～9月30日
- 3) 未定
- 4) 留学助成金1名あたり50万円、渡航費など
- 5) Webで問合せ（中富健康科学振興財団 東京事務局）

### ● 日本/世界銀行 共同大学院奨学金制度

- 1) 世界銀行本部
- 2) 4月中旬〆切
- 3) 10名程度
- 4) 学費、生活費、渡航費、医療保険など
- 5) Scholarshipapplicants@worldbank.org ※英語のみ

### ● 馬場財団国際理解教育人材養成奨学金

- 1) (公財) 日本国際教育支援協会
- 2) 1月下旬〆切
- 3) 7名程度
- 4) 渡航費（成田・関西から留学先主要都市までの往復相当）、奨学金（月額10万円×留学月数〔3ヶ月以上12ヶ月以内〕）
- 5) 03-5454-5274（事業部 国際交流課/担当：松田）

### ● Funai Overseas Scholarship

- 1) (公財) 船井情報科学振興財団
- 2) ～10月17日
- 3) 10名程度
- 4) 授業料全額、医療保険費全額、生活費月額2500ドル、支度金50万円、渡航費
- 5) 03-3254-5635（財団事務局）

### ● (公財) 平和中島財団 日本人留学生奨学生（中島健吉記念奨学金）

- 1) (公財) 平和中島財団
- 2) ～10月31日
- 3) 15名
- 4) 学部生：月額15万円、渡航費 大学院生：月額20万円、渡航費
- 5) 03-5570-5261（事務局 日本人留学生係）

### ● (公財) 松下幸之助記念財団 松下幸之助国際スカラシップ

- 1) (公財) 松下幸之助記念財団
- 2) 6月にHPに掲載
- 3) 最大10名
- 4) 月額13～15万円を1年または2年分、渡航費
- 5) 06-6908-4488

### ● 村田海外留学奨学金

- 1) (公財) 村田海外留学奨学会
- 2) 7月～8月
- 3) 2～4名
- 4) 学費、生活費、渡航費など留学に要する経費
- 5) 075-681-2345（事務局）

### ● (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修生費用助成」制度

- 1) (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団
- 2) 4月上旬〆切
- 3) 4名程度
- 4) 年額200万円（原則2年間）
- 5) 03-3349-6194

### ● (公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金

- 1) (公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団
- 2) ～11月17日
- 3) 若干名
- 4) 学費、生活費、渡航費など留学に要する経費
- 5) 075-681-2345（事務局）

### ● (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修生費用助成」制度

- 1) (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団
- 2) 4月上旬〆切
- 3) 4名程度
- 4) 年額200万円（原則2年間）
- 5) 03-3349-6194

### ● (公財) 吉田育英会 日本人派遣留学プログラム

- 1) (公財) 吉田育英会
- 2) 9月下旬〆切
- 3) 5名程度
- 4) 生活滞在費：月額20万円、学校納付金：合計250万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- 5) 03-5610-8103（吉田育英会事務局）

## 外国政府等奨学金

### ● ヴァニエ・カナダ大学院奨学金

- 1) カナダ社会・人文科学研究会、カナダ自然科学・工学研究会、カナダ保健研究機構の3つの連邦給付機関
- 2) 9月～10月
- 3) 最大500名
- 4) 年間5万カナダドル（最長3年）
- 5) vanier@cibr-irsc.gc.ca

### ● オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金

- 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
- 2) 4月～6月末
- 3) 未定
- 4) 最高で、博士課程：27万2500オーストラリアドル、修士課程：14万500オーストラリアドル
- 5) endeavour@education.gov.au

### ● オーストラリア政府奨学金 エンデバーチュン・コン研究奨学金

- 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
- 2) 4月～6月末
- 3) 研究フェロウシップ受賞者のうち上位5名
- 4) 最高で、2万4500オーストラリアドル
- 5) endeavour@education.gov.au

### ● オーストラリア政府奨学金 エンデバー研究フェロウシップ

- 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
- 2) 4月～6月末
- 3) 未定
- 4) 最高で、2万4500オーストラリアドル
- 5) endeavour@education.gov.au

### ● オーストラリア政府奨学金 エンデバー専門技術奨学金

- 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
- 2) 4月～6月末
- 3) 未定
- 4) 最高で、13万1000オーストラリアドル
- 5) endeavour@education.gov.au

### ● 高円宮記念クィーンズ大学奨学金

- 1) クィーンズ大学、在日カナダ大使館
- 2) 3月下旬〆切
- 3) 未定
- 4) 2万5000カナダドル
- 5) awards@queensu.ca

### ● Dr Goh Keng Swee Scholarship

- 1) Association of Banks in Singapore（ABS）
- 2) 11月から募集開始
- 3) 3～4名
- 4) 学費および必要経費、渡航費（往復）、生活扶助（年間6500シンガポールドル）、寮費、準備金（200シンガポールドル）
- 5) applications@psd.gov.sg

### ● バンティング博士研究員奨励金

- 1) カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・工学研究機構、カナダ社会・人文科学研究機構の3つの連邦研究助成機関
- 2) ～10月23日
- 3) 各年70名
- 4) 年間7万カナダドルを2年間
- 5) banting@researchnet-recherchenet.ca

### ● 大学院留学（学術系学位）プログラム

- 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
- 2) 4月～5月
- 3) 約20名（「大学院博士論文研究プログラム」を含む）
- 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
- 5) 03-3580-3233

# IELTS Hot News

7月31日、東京・千代田区の駐日英国大使館において北米・英国への留学をサポートするIELTS北米奨学金、IELTS Study UK奨学金の授賞式が開催され、受賞者が、留学にかける熱い想いを英語でスピーチした。



厳しい審査をくぐり抜けた10名の受賞者たち

## IELTS 北米奨学金 IELTS Study UK 奨学金

### 10名の受賞者たちが 英語でスピーチを披露

2011年に設立されたIELTSの奨学金制度。IELTSで一定以上のスコアを得て北米・英国に留学する応募者に対し、生活費や学費の補助となる奨学金が支給されるものだ。今年も多数の応募者の中から厳しい審査を経て10名の受賞者が決まり、7月31日に東京の駐日英国大使館で授賞式が開かれた。

「日本では今、国際社会への参加が強化されている時期。受賞者の皆さんには、海外で教育を受けたグローバルリーダーとして、後に続く人のお手本となってほしい」と、英国大使館のジュリア・ロングボトム公使。

今年は北米3人(カナダ2人、アメリカ1人)、イギリス7人の受賞者が選ばれ、授賞式では流暢な英語でスピーチを披露した。

カナダのUniversity of Reginaへ言語学を学びにいく山本亮翼さんは、「日本の英語教育を変えたい」というのが目標。「子どもの頃に4年ほどアメリカに住んでいたことがあります。日本語と英語のバイリンガルの友だちは、2カ国語を使う生活を自由に楽しんでいます。6歳の頃に帰国、英語力は自らの努力でキープしてきたが、日本の学校で英語の授業を受けて驚いたのは、みな文法や単語などを苦しみながら学んでいること。「実際にコミュニケーションをとることで、楽しみながら英語を身につける方法を、

日本にも広めたいと思っています。さまざまな教科を英語を使って学ぶ『イメージ教育』発祥の地であることから、カナダを留学先に選びました。

ロンドンのRoyal College of Artに留学する尾形朋美さんの専攻は「デザイン」。旅行した際にロンドンの街の環境に刺激を受け、「ここでデザインを学びたい」と考えたそう。海外在住経験はなく、英語は日本の英会話学校などで身につけた。「IELTSの準備を始めたのは去年の秋くらい。なかなか規定のスコアに届かず、IELTS対策のコースに通うなどして準備し、6回目の受験でようやく目標のスコアをクリアしました」。尾形さんの場合、アートと社会を結びつけて学ぼうとしているのが特徴。「面接で、オフィスのデザインによって働く人の意識が変わると主張したのが印象的でした」と、選考委員の一人。

### 「熱い志」を持つ人が 最後まで選考に残る

受賞者は、英語エッセイ、英語面接という2回の選考を経て決まる。エッセイでは、海外で学ぶことで、自分の人生やキャリアをどう変えたいか、300語以内でまとめる。しっかりした英語の文章であるのはもちろんのこと、オリジナリティがあり、示唆に富む意見を述べるのが求められる。面接では、留学の動機や将来の目標などが尋ねられるが、「最終的に、英語力を超える“何か”を持っている人が残っ

た」と、選考委員であるブリティッシュ・カウンシル試験部の安田智恵部長。「研究者になりたいといった目標をすらすらと言える人はいるのですが、やはり『何かを変えたい』『新しい分野で自分が先駆けになりたい』という熱い志を持っている人が受賞しました。

受賞者の専攻分野は、言語学、デザインのほか政策、環境、文化人類学、生化学、演劇など多岐にわたる。アメリカのUniversity of Californiaで演劇を学ぶ唐澤彩子さんは、「コメディを勉強し、日本とアメリカのユーモアの違いを理解したい」と語っていた。

ほとんどは日本の大学の学部を終えたばかり、もしくは学部途中で留学する若者で、海外で長期間学ぶことは、本人にとって大きなチャレンジとなる。カナダのUniversity of Torontoで第二外国語の習得について学ぶ竹内雛子さんは、「留学の手続きや奨学金の応募など、すべて自分の力で進めてきました。一人で海外生活を送るにあたり、大きな自信をつけることができました」と話していた。過去の海外在住経験は必ずしも重要ではなく、「自分でコツコツ勉強していた」「海外

の映画やドラマを見たり、音楽を聞いたりしながら覚えた」という人も、少なからずいた。誰にでも開かれているこの奨学金のチャンス、留学を志している人は、ぜひ挑戦してみてほしい。

#### ■ IELTS 北米奨学金 (2014 年度)

アメリカまたはカナダの大学・大学院へ留学する日本在住者が対象。IELTS 北米奨学金事務局が受賞者3人を選考。1人につき6,000米ドルを支給。

#### ■ IELTS Study UK 奨学金(2014 年度)

英国の大学・大学院へ留学する日本在住者が対象。ブリティッシュ・カウンシルが受賞者7人を選考。1人につき3,000ポンドを支給。

#### ■ 2015 年度募集

2014年9月下旬頃にブリティッシュ・カウンシルのウェブサイト上で詳細発表予定。<http://www.britishcouncil.jp/exam>で確認のこと。

※北米、UKともに、応募にはIELTSのオーバーオールスコアで6.0以上を取得しておく必要がある。

#### IELTS とは？ ～年間 220 万人が受験する英語テスト

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、留学や海外移住に必要な英語力を評価する、国際的な英語運用能力試験。今年で25周年を迎え、全世界での受験者数は年間約220万人と、世界で最も受験者数が多い試験のひとつとなっている。現実に即した英語のコミュニケーションを測る、信頼性のある指標として認められ、英国・アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド

を含む135の国と地域において、約9,000の教育機関・国際機関・政府機関が採用している。留学希望者は、IELTSの成績証明書を出願先に提出することで、英語力を証明することができる。試験ではListening、Reading、Writing、Speakingの4技能を測定。試験は東京・大阪・名古屋・札幌・福岡など全国15都市で実施、インターネット・郵送での申し込みが可能。<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

**Aptis**  
Forward thinking  
English testing

**Aptis for Japanese University**  
は日本の大学のために設計された  
世界基準の英語力評価テストです。

英国の公的な国際文化交流機関のブリティッシュ・カウンシルと、「英検」を創設して50年の歴史を持つ公益財団法人日本英語検定協会が、日本の大学向けに英語テスト「Aptis for Japanese University」をスタートしました。このテストは「文法と語い力(コアモジュール) + リスニング + リーディング」という組み合わせで構成され、手軽に、正しく、そしてスピーディに受験者の英語力が測れます。

試験時間は  
授業の時間割にも  
組み込みやすい  
88分。

**88**  
min

受験者が  
多い場合でも  
導入しやすい  
価格。

**3,000**  
円(税別)/人

テスト結果は  
約1週間後に、  
申込者宛てにお届け。  
CEFR(ヨーロッパ言語参照枠)  
との照らし合わせもできるので  
世界基準の英語能力を  
把握することが可能。

**1**  
約 週間

Aptis for Japanese University (大学向けアプティス)に関するお問い合わせはこちらまで

**BRITISH COUNCIL**

ブリティッシュ・カウンシル  
TEL: 03-3235-8031  
E-mail: [exams@britishcouncil.or.jp](mailto:exams@britishcouncil.or.jp)

**英検**

公益財団法人  
日本英語検定協会

公益財団法人 日本英語検定協会  
TEL: 03-3266-6121

ウェブサイト  
[www.britishcouncil.or.jp/aptis](http://www.britishcouncil.or.jp/aptis)



ブリティッシュ・  
カウンシルの  
講師に聞く

# IELTS テストのコツ

by Kevin Thomas

Task 1の図表を見ながら設問に答える問題について  
図表の読み取り方から解答の文章を書くポイント、  
さらに、スコアアップのためのヒントを解説しよう。

## 図表で表現されていることは何か

IELTS アカデミック・モジュールのライティング・セクション TASK 1は、図表を見て質問に答えるものです。図表には、表、線グラフ、円グラフ、棒グラフ、チャート、地図、またはそれらを組み合わせたものなど、さまざまなパターンがあります。ここでは、図表で示されていることだけを答えなければなりません。自分の意見・感想を加えてはいけません。まず質問に目を通して、それを別の表現で書き換えてみましょう。これがイントロダクションの部分になります。次に図表を見て、そこで何が表現されているのか、何を目的としたものなのかを考えます。例えば、こういった点に着目してみましょう。

- データの変化を示しているのか、2つ以上のものを比較しているのか
- 示されているデータは過去のものか、過去から現在に至るものか、それとも将来の予測か

時間による変遷や比較を示しているものならば、2つ以上の日付または年などが入っているはず。そうでなければ、ひとつの日付・年しか入っていないか、またはまったく入っていないこともあるでしょう。

## 図表によって表現が異なる

図表の説明には、特定の語彙を使います。以下がその例です。

変化：increase (増加する)、fall (下落する)  
remain stable (安定している)  
比較：more than... (…より多い)  
less than... (…より少ない)  
double the amount of... (…の量の2倍)

プロセスを示すチャートの場合、受動態を用いる必要があります。例えば、チョコレートの製造過程について説明するとしましょう。このような説明の仕方は、大変不自然に映ります。

people crush cocoa beans and then people put the powder into a machine  
(人々はカカオ豆を粉砕し、それから機械に粉を入れる)

この場合、焦点となるのはチョコレートなので、次のような文にする必要があります。

cocoa beans are crushed and then the powder is put into a machine  
(カカオ豆は粉砕され、粉が機械に投入される)

地図の説明においても、受動態が必要となります。例えば、1980年から2000年にかけての都市の中心部の変遷を示した2つの地図があるとしましょう。2つ目の地図には、もう1つにはない建物があります。私たちに、誰がこの建物を造ったのかわかりません。そこで、People... や They... ではなく、building を主語として、次のように表現します。

a building was constructed during the period  
(この間、建物が造られた)

どのような表現の仕方が適しているかを学ぶには、問題集や対策本に目を通してみてください。図表の問題とその答えの文章に目を通し、自分で下線を引きながら、こういった文法が使われているか、パターンを見出すのです。または、IELTS から離れ、普段の生活の中でもこのパターンをつかむことができます。新聞やウェブサイトを見て、統計やプロセスを説明するのにこういった表現が使われているか確認してみてください。

## 文章の書き方にはコツがある

イントロダクションの次に、図表が示す全体的な内容について触れます。主な変化や大きな傾向につき、数字などあまり細かい内容には触れずにとまめます。続いて細部について語るときは、単に事実を列挙するのではなく、最も重要な情報から始め、互いに関連し合った情報をまとめるようにしてください。

例えば、円グラフを見ながら政府の歳出についてまとめるとき、最も支出が大きい項目について触れ、その次に中間のもの、最後に支出が小さいものと、グループ分けしながら順番に触れていってください。また、時間が経つにつれ変化していったことについては、上昇傾向にあることに先に触れ、次に下降傾向にあるもの、変化がないものについてまとめて述べます。いちばん大切なのは、最も大きな変化について強調すること。できるだけ論拠となる数字や細かい情報を盛り込むようにしてください。詳細を述べる際

は段落を使ってわかりやすく書くことも大切です。

また、同じ言葉を繰り返し使わず、語彙が豊富にあることを示すようにするといいでしょ。同じことを言う場合でも、例えば下記のように、別の語を用いると効果的です。

増加する：increase/rise 減少する：decrease/fall

変化の様子を示す形容詞を用いるのもいいでしょう。次のようなものを参考にしてください。

gradual (ゆるやかな)、sharp (急激な)、rapid (急速な)

さまざまな文法のパターンが使えることを示すことも心がけてください。次のようなバリエーションを参考にしてください。

there was a steady increase (安定して増加していた)  
numbers increased steadily (数字は安定して増加した)

量の対比を表す表現も使えるようにしましょう。

expenditure on cars was almost double that on trains  
(ほぼ倍であった)

expenditure on buses was by far the largest of the spending areas  
(圧倒的に多かった)

センテンスをつなぐテクニックも必要です。似たようなことをつけ加えるには、次のような言葉を使うといいでしょう。

in addition (つけ加えると)、further more (さらに)

異なる傾向を伝えるには、次のような言葉が使えます。

whereas (～に反して)、in contrast (対照的に)、although (しかしながら)

最初から完璧な文章を目指そうとしないことも大切です。自分でどこを改善していくかを考えながら解答を書くことを重ねることで、文章力が次第に養われます。IELTS の問題集や対策本を使い、お手本の文章と自分が書いたものを比べ、どこを直していけばいいか、少しずつ考えていくようにしましょう。

# IELTS™



IELTS.  
The international  
license.

## IELTSという名の 国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ)は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、  
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで  
[www.eiken.or.jp/ielts](http://www.eiken.or.jp/ielts)

## IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!  
[www.britishcouncil.or.jp](http://www.britishcouncil.or.jp)

勉強法や留学した人の体験談がわかる  
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人  
日本英語検定協会

BRITISH  
COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、  
ブリティッシュ・カウンシルと日本での  
IELTSを共同運営しています

## IELTS 対策コースナビ

Vol. 5

SI-UK ～リスニング編～

正しく発音することが  
正確な聞き取り力を養うおよそ 100 時間で  
0.5 ～ 2.0 のスコアアップ

イギリスの大学・大学院への留学サポートを専門に扱う SI-UK。教育機関への出願を無料で行うとともに、数々の IELTS 対策コースを開き、留学希望者たちのスコアアップを実現させている。東京・渋谷に新設された教室では、少人数制で活発な授業が行われていた。「学生の方や、仕事を辞めて留学前に集中して学びたいという社会人の方には、4週間のフルタイムコースがあります。仕事をしながら学ぶ方のために週末や土日を利用して通うコースもあり、おおよそ 100 時間で 0.5 ～ 2.0 のスコアアップが可能です。また、プライベートレッスンではニーズに合った学習が可能です。ご自身の予定に合わせて予約がで

きます」と、SI-UK 語学センター長の鈴木ポーラさん。講師はイギリス人を中心とするネイティブスピーカーで、英語教授法の資格と、過去に英語を指導してきた経験の持ち主。レッスンでは Cambridge University Press の Objective IELTS をはじめさまざまなテキストを使用し 4 技能をバランスよく学ぶ。今回は、リスニングセクションの効果的な学習法について、ポーラさんに伺った。

「リスニングと発音は密接な関係にあり、自分でうまく発音できないと、聞き取ることができない傾向にあります。日本人学習者は一般に、カタカナ風の発音に慣れてしまっているため、ナチュラルな英語の発音に触れたとき、それを正確に認識することができないのです」

この弱点を克服するためには、まず、自分

が正しい発音をすることができるよう、トレーニングが必要があるようだ。「新しい単語に触れたら、意味を確認するだけでなく、正確な発音を身につけるよう心がけてください。レッスンで講師の発音に耳を傾け、自分で繰り返し言うようにするといいでしょう。テキストについている CD-ROM を使い、自宅でも聞いたことをそのまま繰り返す、という練習を続けてほしいと思います。」

リスニングの問題でも  
スペルミスに注意

実際の IELTS のリスニング問題は 4 つのセクションからなり、「複数の登場人物による日常会話」「日常の事柄についてのモノローグ」「複数の登場人物によるアカデミックな会話」「アカデミックなスピーチ」がある。

留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。今回からは、世界各国に 8 つのオフィスをもち、90 カ国以上の学生や社会人を英国留学へと導く SI-UK に、IELTS 対策コースについて聞いてみよう。

内容を聞いて選択肢の中からそれに合う答えを選ぶといったものだけでなく、空欄を補充する、自分で短い答えを書くなど、さまざまなタイプの設問が用意されている。

「音声を聞く前に質問にすばやく目を通し、聞き取るべきことをあらかじめ把握しておくことが大切です。また、自分で英語を書かなければならないので、スペルミスにも気をつけてください」(ポーラさん)

日本人は特に単数・複数や時制による変化、-ed の形などでミスをすることが多いそうだ。「例えば、carbonated drink (炭酸飲料) を carbonate drink と書くと、不正解になってしまいます。細かいことでスコアを落とさないよう、十分注意してください。SI-UK ではこういった細かいテスト対策も、授業の中で指導してくれる。」

## IELTS に対応するコース

## フルタイム IELTS

100 時間で 4 セクションを効率よく学ぶ。週に 1 回、講師と 1 対 1 で現状を確認するチュートリアルも実施する。

## レベル別 IELTS グループレッスン

入門・初・中・上級の 4 つのレベル別コースに分かれて 4 セクションを学ぶ。全コースが少人数制で行われる。

## IELTS/Academic Writing グループレッスン

語彙力、文法力を身につけ、アカデミックな文構造やさまざまなタイプのエッセイの構成を集中的に学ぶ。

## IELTS Speaking 直前対策セミナー

東京会場の試験日程に合わせ、翌日のスピーキングテストのために、土曜日の夜に開講する直前対策レッスン。

## 短期集中特別コース

GW や夏休みなどの連休に開講される短期コース。IELTS のレベル別コースのほかにもさまざまなコースを設定。

## IELTS/Academic Writing 通信制コース

講師と Email でやりとりをしながら、Task 1、Task 2 の、アカデミックライティングスキルの向上を目指す。

## プライベートレッスン

グループレッスンを受講後、自分の弱点に特化して集中して学ぶなら、プライベートレッスンがおすすめ。

SI-UK <http://www.ukeducation.jp/>

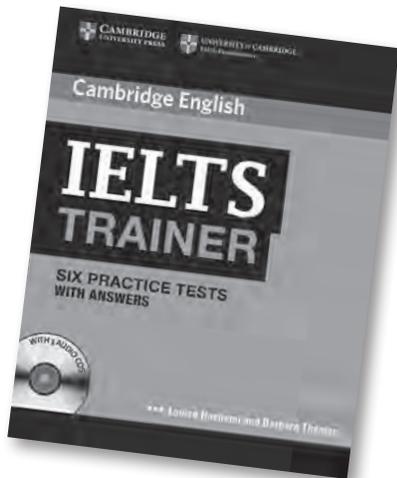
## Book IELTS / BULATS 攻略本

IELTS TRAINER  
Six Practice Tests with Answers and Audio CDs (3)

## 受験テクニックが満載

IELTS 受験対策用テキストです。模擬テスト 6 回分を収録し、受験を成功に導くためのアドバイスや情報が満載です。初めの 2 回分のテストには、セクションごとの取り組み方など、詳細なガイドがついています。そのほかにも、追加のアクティビティ、リスニング音声、ライティングのサンプル解答を収録。自宅学習にぜひ活用したい 1 冊です。

IELTS TRAINER  
Six Practice Tests with Answers and Audio CDs (3)  
本体価格 3,800 円

上手な  
活用法

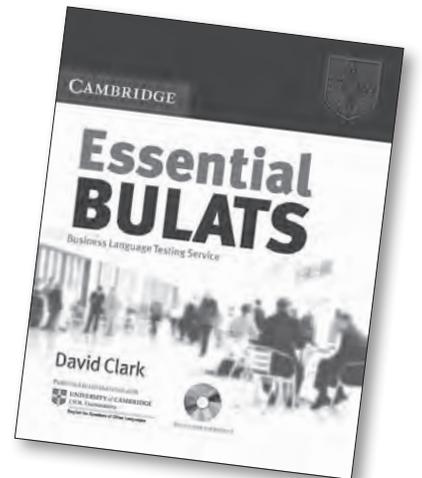
ガイド付きの模擬テストで各セクションへの取り組み方やアドバイスを学び、受験テクニックを身につけます。残りの模擬テストでは、学んだスキルを生かして試験形式に慣れていきましょう。

Essential BULATS  
With Audio CD and CD-ROM

## 忙しい人におすすめ

BULATS ペーパー版テストスタンダードテスト (Listening および Reading and Language Knowledge)、スピーキングテスト、ライティングテスト、コンピューターテスト (付属 CD-ROM に収録) を網羅しています。適度なボリュームなので、忙しい学習者には最適です。どのパートからも学習可能なので、自分に合った方法で進めることができます。

Essential BULATS  
With Audio CD and CD-ROM  
本体価格 3,800 円

上手な  
活用法

テキストの順番にバランスよく学習するもよし、苦手なパートを集中して学習するのもいいでしょう。各パートで紹介されている試験内容および問題形式をしっかりと把握し試験に備えましょう。

Vol. 12 メディシンハット大学 奥谷明日香さん

## 留学で培う3つの力

## 価値観を広げようと留学を決意

私は2013年9月から2014年5月までの8ヵ月間、カナダのアルバータ州にあるメディシンハット大学で学びました。マイノリティのパブリックサービスについて、カナダで学びたかったこと、自分の価値観を広げ、語学力を高めたいという思いから、カナダへ

の留学を決意しました。

留学中は、公私ともに非常に実りの多い時間を過ごすことができました。この期間中に本当にさまざまなことを学びましたが、そのなかでも特筆すべきものを挙げるとすると、次の3つになります。

ちから

1

## 共感力

## 他者の考えを受け入れることの大切さ

カナダという多民族国家におけるさまざまな価値観のなかで、相手の考えを尊重する「共感力」が身についたと思います。すなわち、人それぞれに考え方があり、自分の考えと同じように他人の考えも理解する重要性に気づいたのです。

大学の前期にいった cultural awareness という授業では、文化の違いや、何が文化の違いを生み出しているのかについて学びます。授業は講義だけでなく、並行して国籍多様なメンバーとグループディスカッションも行います。

例えば、こんなテーマでのディスカッションです。友人が制限速度30キロの道路を40キロで走行し歩行者をはねたとします。周りには誰もいません、あなた以外は。「友人は30キロで走行していた」とあなたが証言すれば、友人の罪は軽減されます。この時あなたは嘘の証言をしますか？ それとも、真実を話しますか？

このテーマで話し合った際には、それぞれの文化が particularism という考えか、universalism という考えかを持っているかによって、反応が変わってくるのがわかりました。前者は状況によってルールの適用を変えるという考えかです。後者はあらゆる状況において

ルールを適用するという考えかです。この事故の場合、友人を助けるという文脈が絡んでいるので、嘘をつくことは良くないと自覚しながらもこの状況下では嘘をつくことを特例として捉える傾向にあるアジア人に対し、カナダ人、西洋人は嘘をつくのとは良くないという考えか、状況にとらわれずに適用する結果となりました。

留学前から、文化によって考えか異なることは頭ではわかっていましたが、実際に多様な学生と机を並べ、さまざまな人、文化と触れ合うことで、価値観は優劣があるものではなく、単にさまざまな形があるということ、異なる background を持つ他者に共感すること、受け入れること、先生の言葉を借りると、「There is no right or wrong, there is just right and left」ということを真に学びました。

ちから  
2

## 意志力

## 意見を伝えることで信頼感が増した

意志力も、共感力とともにバランスよく高まったと思います。これは留学中だけでなく、留学準備においても言えることです。海外の大学など留学情報を調べている際に、インターネット上や周りの知人からさまざまな情報が飛び交うなかで、「本当に自分がしたいこと、見たいこと、知りたいこと」を見極めるのは意外と難しいもの。他人の意見に流されず、自分の意志を持つことの難しさ、大切さに気づきました。

いざ留学してみると、人やインターネットから聞いた情報とは異なることが多々あることに気づきました。同じ物事に対してでも、人それぞれ感じることが異なります。自分の目で確かめ、感じ、

判断し、自分の意志として、自分の意見を持つ大切さを改めて認識しました。

また、カナダの多様な文化・価値観のなかで、相手の考えを尊重する「共感力」を大切にすることはもちろん、それと同時に、ひとりのユニークな人間として、真の自分の価値観、自分の考え、思いを持つことの大切さにも気づきました。

実際に、授業でよく行われるグループワークの際も、自分の意見がなければ、そこにいる意味がないと感じました。これまで私は、人に迎合することもあり、気を遣って意見を言うことはあまりありませんでした。しかし、自分の意見をしっかり伝え、相手を説得したり、相手から異なる意見を出されても、自分の意見が正しいと思って考えを曲げなかったりすることが、次第に強化されていきました。こうした意志力が確立されればされるほど、不思議なことに、相手からより信頼され、一目置かれるようになってきたのです。low context culture という、言語に多く頼るコミュニケーションスタイルの文化のなかで、自分の気持ち、意見を言葉で伝えようとしているうちに、自分が考えていることが何なのか、それを相手にどのように伝えたいのか、ということが身につきました。



友人たちとの接し方にも変化が。写真はハロウィンパーティーにて。

グループディスカッションの後、メンバーとドライブへ。

イエローナイフで初めての犬ぞり体験に挑戦。



モットーになりました。引っ込み思案だった私が、チャンスがあれば人と関わり、外に出て、さまざまなことを吸収できる人間に変わりました。好奇心旺盛な「行動力」は、自分が思いもよらなかった新たな出会い、知恵を与え、自分を高めていく秘訣になるものだと思っています。

カナダの学校システムやカナダの若者の考えかを知る良い機会になりました。

また、カナダならではの経験をしたいと、長期休暇を利用し、イエローナイフヘオーロラを見に行きました。そこでは、満天の星空と、飛び交う流れ星、言葉では説明できない魔法のようなオーロラを見ることができました。イエローナイフの博物館や州議事堂にも足を運び、犬ぞり体験や、現地の人との交流など、カナダの文化に触れることができました。

限られた留学期間のなかで、さまざまな事を決心し行動することが求められたため、自然と私も行動重視になっていき、結果「案ずるより産むがやすし」が私の

ちから

3

## 行動力

## 人との出会いや知恵を与えてくれる

インドア派で、引っ込み思案気味だった私ですが、留学中は、多くのことを肌で感じ学ぶため、大学外においても、時間の許す限り、現地の人、コミュニティ、文化と関わるよう意識しました。

その第一歩としてまず、日曜日はホストファミリーと教会へ行くようにしました。カナダではキリスト教徒の割合が高く、宗教を学ぶことも人々の考えか、文化を学ぶ大切な方法のひとつだと考えたからです。教会では、手を高く上げ、心

身ともに祈りをささげる人、感極まり泣き出す人など、初めは、どうして自分の貴重な時間を割いてまで毎週教会へ行くのか、どうしてそこまで熱心になれるのか、正直理解できずに驚きましたが、実生活における宗教の位置づけを学ぶことができました。

また、週に一度、数名の高校生に日本語を教えるボランティアも行いました。日本語を教えた経験がなかったので苦戦しましたが、高校生と関わったことで、

# ICUにおける英語教育

ーグローバル人材を育てる教授法と学生の体験ー

2014.11.29 sat 13:00-19:00

国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス

シンポジウム：13:00-17:00 国際会議室

情報交換会：17:15-19:00 大学食堂



「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業 (GGJ)」における本学の3つの取組のうち、2つの取組「英語運用能力のさらなる伸長」、「情報発信能力(ライティング)の涵養にフォーカスし、本学の英語教育における人材育成の考え方と教授手法を共有します。シンポジウム前半では、開学時に開始され、時代に合わせて発展を続ける英語教育プログラム※の教育内容と、同プログラムを修了した学生が、専修分野における英語論文を作成するときの手法を教授する「W(ダブル)コース」について、具体的に紹介します。 ※現在は「リベラルアーツ英語プログラム: ELA」

対象	GGJ採択校関係者の他、高等教育・中等教育関係者、企業の人材育成担当者等。	詳細・申込
言語	日本語	
参加費	無料 (情報交換会への参加は有料)	

お申し込みは10月上旬より開始予定です。  
詳細は本学グローバル人材育成プロジェクトウェブサイトにてご確認ください。  
<https://web.icu.ac.jp/global/>



# 東海地区 留学フェア2014

11/22(土) 11:00~17:30

会場：名古屋大学豊田講堂

対象：中高生・大学生・社会人

名古屋大学に、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・イタリアの大使館・公的機関の教育・留学の担当者がやってきます！

参加無料!!

## 留学フェアでできること

1. 各国の担当者に直接、個別に留学相談ができる！
2. 各国の留学セミナーに参加できる！
3. 留学に必要なIELTS / 英検 / TOEFL®テストなどの英語試験や奨学金の情報を入手できる！

■その他参加団体 ■ 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部、日本学生支援機構 (JASSO)

■資料参加 ■ Campus Franceーフランス政府留学局・日本支局、駐日欧州連合代表部

